



平成22年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式

全国戦災史実調査報告書
北海道・東北・関東



平成22年11月

平成22年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式

全国戦災史実調査報告書
北海道・東北・関東

平成22年11月



北海道 釧路市 「釧路市民戦災死没者慰霊式 並びに 平和祈念式」



北海道 函館市 「第二次世界大戦 函館空襲戦災跡地 戦災者慰霊碑」



青森県 青森市 「青函連絡船戦災犠牲者追悼・平和祈念の集い」



埼玉県 熊谷市 「戦没者供養 とうろう流し」



宮城県 仙台市 「戦災死没精霊供養碑」



東京都 台東区 「時忘れじの塔」

平成22年度

全国の戦災の追悼施設・追悼式

趣 旨

この報告書は、戦争を知らない若い世代の方々に、地元にも空襲があったということを知っていただき、機会があれば訪ねる際の案内と使えるように、どなたでも訪ねることの出来る追悼施設、どなたでも参加することの出来る追悼式を対象に、平成22年度の総務省の委託事業として弊社が行ったものです。

今年度は北海道・東北・関東地方を調査対象として実施いたしました。この報告書を契機として、追悼施設や追悼式に込められた深い悲しみに思いを致していただければと、考えております。

なお、許可なく立ち入ることができない個人や学校等の敷地内の追悼施設や事前申し込みが必要な追悼式は除外しています。

最後になりましたが、この調査をするにあたってご協力いただいた皆様に、深く感謝いたします。

株式会社 NHK グローバルメディアサービス

注 釈

- 当報告書は、北海道、東北、関東地区の空襲や艦砲射撃等の戦災に関する主な追悼施設、追悼式を掲載しています。（「戦没者」との合同形式も含まれます）
- 調査、編集は、平成22年6月より同年11月末に行なっています。
- 学校・企業・個人の敷地内にあり、入場に制限がある追悼施設に関しては、掲載を見合わせています。
- 追悼式に関しては、開催時期、開催主旨、参列条件、情報不足等の理由により掲載できなかったものもあります。
- 客観性、公平性を保つため、追悼施設に関しては、所在地や建立年等の事実関係を記した基本情報と碑文の掲載のみに留めています。また、慰霊碑、祈念碑等に「説明文（板）」が付属する場合は併せて掲載しています。なお、碑文、説明文の情報が少ない場合は、関係資料等に記載されているものを「経緯」として掲載しています。追悼式に関しては、主催者、関係者から提供を受けた式次第、式辞または挨拶文を基本的に原文のまま掲載しています。
- 連絡先については、施設の管理者又は式の主催者の許可を得た上で、発行時現在のものを掲載しています。許可を得られなかったもの等は掲載していません。

※掲載写真の無断複写、複製、転載を禁じます。

目 次

北 海 道	1
旭川市戦没者追悼式	2
根室市戦没者追悼式	4
釧路 平和のモニュメント、戦災記念碑	6
釧路市民戦災死没者慰霊式 並びに 平和祈念式	7
帯広市戦没者追悼式	8
帯広空襲の碑	10
室蘭 艦砲射撃慰霊碑	12
室蘭艦砲射撃追悼慰霊祭	13
室蘭市戦没者並びに艦砲射撃殉難者追悼式	14
室蘭 空襲、艦砲射撃被害者四三六柱の慰霊碑	16
室蘭 艦砲射撃殉難者慰霊碑、慰霊之塔	18
伊達 空襲犠牲者慰霊碑	20
伊達空襲犠牲者慰霊祭	21
函館市戦没者追悼式	22
第二次世界大戦 函館空襲戦災跡地 戦災者慰霊碑 ほか	24
東 北	27
青 森	28
青函連絡船戦災の碑	28
青函連絡船戦災犠牲者追悼・平和祈念の集い	29
青森市戦没者慰霊祭	30
「空襲・戦災都市 青森」の碑	32
青森平和観音像	34
青森空襲犠牲者霊供養の鐘	36
平和祈念碑	38
秋 田	40
土崎空襲犠牲者追悼平和祈念式典	40
秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典	42
平和祈念碑（祈恒久平和）	44
平和を祈る乙女の像	46
慰霊碑つばさ	48
高射砲台座上に建てられた慰霊碑	50
平和祈念碑（土崎空襲 犠牲者に捧げる 慰霊平和）	52
岩 手	54
釜石市戦没者追悼式	54
平和女神像	56
嬉石町山林の地藏	58

花巻市戦没者追悼・平和祈念式	60
爆弾投下塔 平和の誓	62
やすらぎの像	64
平和の祈り	66

宮 城

仙台市戦没者・戦災死者合同慰霊祭	68
戦災死没精霊供養碑	70
奈津子・十一才の夏	72

福 島

学徒動員戦没者慰霊碑	74
------------	----

関 東

茨 城

日立空襲艦砲射撃慰霊碑「陶輪碑」	78
諸精霊之碑	80
茨城師範学校学徒殉難碑	82
平和の像「碧翔」と記念碑	84
水戸戦災犠牲者慰霊祭	85

群 馬

前橋空襲追悼碑	86
前橋空襲戦災犠牲者慰霊式典	87
慰霊塔	88
太田市戦没者等追悼式	90
太田市戦災被爆者慰霊記念の碑	92

栃 木

宇都宮空襲戦災殉難者追悼法要	94
宇都宮空襲犠牲者追悼「ふくべ灯籠流し」	96
宇都宮市慰霊塔	98
大谷平和観音	100
枝病院門柱戦災記念碑	102

埼 玉

熊谷市戦没者戦災死没者追悼式	104
戦没者供養 とうろう流し	106

戦災者慰霊之女神	108
平和地藏	110

千 葉

千葉市戦没者追悼式	112
戦災復興記念碑	114
蘇我町戦災死者之墓	116
柏市戦没者追悼式	118
流山市戦没者追悼式	120
銚子市戦没者追悼式	122
嗚呼戦災死者之碑	124

神 奈 川

川崎市戦没者追悼式	126
川崎市戦没者慰霊塔	128
御幸地区戦災殉難者群霊墓碑	130
扇島身代り地藏尊	132
平和祈念碑	134
戦争犠牲者諸聖霊	136
ガラスのうさぎ像	138
小田原空襲の碑	140
平塚市平和慰霊塔	142
平塚市戦争犠牲者を追悼し平和を祈念する集い	143

東 京

東京都慰霊堂	144
東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑	146
夢違之地蔵尊	148
戦災殉難諸精霊供養之碑	150
戦災殉難者供養之碑	152
戦災殉難者慰霊之塔 ほか	154
戦災殉難諸精霊供養塔	156
大東亜戦争殉難者之碑	158
東京大空襲戦災犠牲者追悼碑	160
戦災慰霊碑	162
平和地藏尊	164
浅草大平和塔	166
時忘れじの塔	168
慰霊碑 哀しみの東京大空襲	170
戦災犠牲者慰霊碑	172
戦災殉難者供養之碑	174
戦災殉難歿死者供養碑	176
戦災殉難者諸精霊供養塔	178

希いの像	180
母子像「戦火の下で」	182
世界の子どもの平和像（東京）	184
平和地藏	186
明治観音堂	188
戦災遭難死者慰霊碑	190
世代を結ぶ平和の像	192
関東大震災、東京大空襲 犠牲者慰霊碑	194
「山の手空襲」追悼碑	196
殉難五君之碑	198
新井宿観音堂	200
大田区戦没者慰霊塔	202
池上平和観音	204
五十間鼻無縁仏堂	206
豊島区空襲犠牲者哀悼の碑	208
4・13 根津山小さな追悼会	209
中島飛行機株式会社武蔵製作所 殉職者慰霊碑	210
中島飛行機株式会社武蔵製作所 殉職無縁者永代供養碑	212
平和観音菩薩像	214
旧日立航空機株式会社 立川発動機製作所 変電施設、慰霊碑	216
戦災供養地藏尊	218
八王子市戦没者慰霊塔	220
八王子市戦没者・戦災殉難者追悼式	221
いのはな慰霊碑、戦災死者供養塔	222
いのはなの集い	223
ランドセル地藏	224
平和の像	226

北海道

旭川市戦没者追悼式



※写真提供 旭川市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：旭川市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：ロワジールホテル 旭川
 (JR旭川駅 徒歩15分)
 日時：平成22年8月30日(月) ※例年8月開催予定
 参列者数：150人
 連絡先：旭川市 福祉保険部 福祉保険課 0166-26-1111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式の辞…旭川市福祉保険部長
2. 国歌斉唱
3. 式辞…旭川市長
4. 黙とう
5. 追悼の辞…北海道知事、旭川市議会議長、遺族代表
6. 献花…旭川市長ほか参列者全員
7. あいさつ…旭川市連合遺族会会長、旭川市長
8. 閉式の辞…旭川市福祉保険部長

式辞 (平成22年度)

本日ここに、戦没者御遺族並びに御来賓の皆様の御列席のもと、旭川市戦没者追悼式を挙げるに当たり、市を代表し式辞を申し述べます。

先の大戦が終わりを告げてから、六十五年という年月が過ぎ去りました。

多くの方々が、祖国の安泰を願い、家族を案じつつも厳しく激しい戦場に散り、戦禍に倒れ、あるいは、愛する家族を思いながらも再び郷土の地を踏むことなく遠い異国の地で亡くられました。

今ここに戦没者の方々の在りし日のお姿を忍びますとともに、衷心より御冥福をお祈り申し上げる次第であります。

私たちは今、当たり前のように享受している平和と繁栄、そして、水と緑にまつまれた自然豊かな郷土旭川のこの美しい姿が、戦争によって心ならずも命を落とされた方々の犠牲の上に築かれていることを、ひとときも忘れてはなりません。

改めて、戦没者の方々に敬意と感謝の誠を捧げるものであります。

私たちは、こうした方々の尊い犠牲を次の世代にしっかりと伝え、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和の実現に努めていくことこそが、戦没者の方々に報いる途であると確信をいたしております。

本日この式典に当たり、先の大戦から学びとった多くの教訓を深く心に刻み、旭川の豊かな可能性を切り拓き、市民が安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、全力を尽くしていくことを、今ここに誓い申し上げます。

終わりに、戦没者御遺族の皆様のお変わりのない深い苦しみ、悲しみに思いを致すと同時に、皆様の末永い御平安を心からお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成二十二年八月三十日
 旭川市長 西川 将人

根室市戦没者追悼式



※写真提供 根室市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：根室市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
会場：根室市総合文化会館
(JR根室駅 徒歩15分)

日時：平成22年8月15日(日) ※例年8月15日開催

参加者数：124人

連絡先：根室市 市民福祉部 社会福祉課 0153-23-6111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開 式
2. 黙 とう
3. 国 歌 斉 唱
4. 式 辞 … 根室市長
5. 追 悼 の 辞 … 北海道知事、北海道連合遺族会長、根室市議会議員
6. 電 報 披 露
7. 献 花 … 根室市長、国会議員、北海道知事、北海道議会議員、北海道連合遺族会長、根室市議会議員、根室市戦没者遺族会長、根室市戦災死没者遺族代表、来賓、参列遺族、市議会議員、一般参列者
8. 謝 辞 … 遺族代表
9. 閉 式

式 辞 (平成22年度)

本日ここに、根室市戦没者追悼式を挙げるにあたり、戦禍の犠牲となられた方々の御霊に、謹んで追悼の誠を捧げます。

先の大戦において、多くの尊い生命が失われ、本市においても、戦役者775名、空襲などによる戦災死亡者209名、並びに北方領土の島々において犠牲となられました多くの方々が国難に殉じ、国の内外において痛ましくも散華されましたことは、私たちにとって永久に忘れることのできない深い悲しみであります。

あの長く苦しい戦いの中で、祖国の安泰と家族の無事を願いながら戦禍に倒れられた方々、そのご遺族の皆様におかれましては、終戦から65年の歳月が過ぎようとしているいまでも、そのご苦勞を忘れることは出来ないものと存じます。

そのご心情を拝察するとき、悲痛な思いが今も胸に迫るのを禁じ得ません。

戦後、我が国は敗戦という混乱の中から立ち上がり、幾多の困難をのり越えて、今日の平和と繁栄を築きあげました。

わが根室市も先人のたゆまぬ努力により、今日まで北海道の東の拠点都市として、発展を遂げて参りました。

また、戦後一貫して返還を叫び続けております北方領土問題も、返還運動が始まってから65年を迎え、一日も早い領土返還の実現を目指すとともに、この北方領土返還の炎をいつまでも絶やすことなく、不断の努力を続けてまいり所存であります。

本日の戦没者追悼式にあたり、あの悲しい歴史を二度と繰り返すことのないよう、8月15日が平和の原点であることを改めて心に刻み、恒久平和への誓いを新たにいたしますとともに、ふるさと根室の再興と心豊かに暮らせる市民生活の実現を目指し、市民の皆様と共に力を合わせて取り組んでまいりますこととお誓い申し上げます。

最後に、戦没者英霊のご冥福と、ご遺族並びにご参列の皆様のご平安を心から祈念申し上げます。式辞といたします。

平成22年8月15日
根室市長 長谷川 俊輔

釧路 平和のモニュメント、戦災記念碑



基本情報

所 在：釧路市栄町平和公園
 住 所：北海道釧路市栄町6・7
 (JR釧路駅 徒歩10分)
 連絡先：釧路市 都市整備部 公園緑地課 0154-23-5151 (代表)
 建立者：釧路市 平和のモニュメント建立期成会
 建立年：平成7年8月15日

碑文

戦災記念碑

ここにあった
 悲しみを
 苦しみの日を
 永久に語りつがねば
 ならぬ

釧路市民戦災死没者慰霊式 並びに 平和祈念式



※写真提供 釧路市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：釧路市民戦災死没者慰霊式 並びに 平和祈念式
 会場：釧路市栄町平和公園
 (JR釧路駅 徒歩10分)
 日時：平成22年8月15日(日) ※例年8月15日開催
 参列者数：約400人
 連絡先：釧路市平和都市推進委員会 0154-31-4590

式次第 (平成22年度)

1. 開 会
2. 黙 と う
3. 献 花
4. 式 辞 … 釧路市平和都市推進委員会委員長・釧路市長
5. 来賓挨拶 … 釧路市議会議長、釧路商工会議所会頭
6. 平和への願い
7. 平和のメロディー … 北海道釧路明輝高等学校吹奏楽部
8. 閉 会

経緯

釧路市民戦災死没者慰霊式並びに平和祈念式の経緯

昭和20年7月14、15日の釧路空襲で192名の方々が犠牲となる大きな被害を受けたことから、昭和30年より、当時の「釧路市歓楽街振興会」が、栄町平和公園を会場に「釧路市戦災地復興祭」を挙行、釧路空襲による犠牲者の冥福を祈ってきた。

その後、釧路市が「核兵器廃絶平和都市」を宣言して以来、各種の啓発活動を実施してきた「核兵器廃絶平和都市宣言実行委員会」を中心に、「釧路市戦後50年平和事業実行委員会」「釧路市平和のモニュメント建立期成会」の恒久平和を願う3つの団体が、平成8年5月に発展的に改組した「釧路市平和都市推進委員会」により、毎年8月15日に「釧路市民戦災死没者慰霊式並びに平和祈念式」を開催している。

帯広市戦没者追悼式



※写真提供 帯広市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：帯広市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：帯広市民文化ホール
 (JR帯広駅 徒歩5分)
 日時：平成22年9月21日(火) ※例年9月21日開催
 参列者数：220人
 連絡先：帯広市 保健福祉部 社会課 0155-24-4111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開 式
1. 国歌斉唱
1. 黙とう
1. 花輪奉呈
1. 式辞
1. 追悼の辞
1. 式電拝読
1. 献花
1. 平和の誓い
1. 挨拶
1. 閉 式

式 辞 (平成22年度)

本日ここに、戦没者のご遺族並びにご来賓の皆様のご参列を得て、平成二十二年度帯広市戦没者追悼式を執り行うにあたり、戦没者並びに戦災物故者の御霊に対し、謹んで追悼のことばを捧げます。

顧みますと、六十五年前の昭和二十年七月、帯広市は空襲を受け、多くの市民が被災しました。

それから一ヶ月後、熾烈を極めた先の大戦は、八月十五日、終戦を迎えたのであります。長く苦しい戦いの中で、祖国の安泰を願い、家族の無事を案じながら、国内外で戦禍に倒れた方々、また戦後、遠い異郷の地で無念にも最期を遂げられ、帯広への帰還がかなわず、亡くなられた方々の無念に思いを馳せ、ご遺族の深い悲しみを拝察するとき、痛恨の情、胸に迫るものであります。

戦没者の方々のご冥福を、心からお祈りいたします。また、最愛の肉親を失われましたご遺族の皆様が、悲しみに耐え、多くの苦難に立ち向かいながら、家族を守り、平和な社会の実現にご尽力されてこられましたことに、心より敬意を表するものであります。

戦後、わが国は、幾多の困難を乗り越えて、平和と繁栄を真摯に希求し、勤勉な国民性をもって、世界でも類をみない経済発展と平和国家を築き上げました。また、郷土帯広市は、恵まれた自然環境のもと、多くの人々のたゆまぬ努力により、十勝の中核都市として目覚ましい発展を遂げてまいりました。

この平和で豊かな今日の社会の礎として、戦没者の方々の尊い犠牲があったことを、決して忘れることなく、今後とも郷土を守り育て、誰もが安心して生活できる地域社会づくりの一層の推進を図り、市民の英知を結集し、夢と誇りのもてるまちを築いてまいります。今日、世界に目を転じますと、テロや武力による争いが後を絶たず、また貧困と格差や地球温暖化問題など、解決しなければならない喫緊の課題が山積しておりますが、平和で安心して生活できる社会は、人類共通の願いであります。

国民の大半が戦争の悲劇を知らずに育った世代である今、改めて先の大戦で学んだ多くの教訓を、心に刻み、平和の大切さや戦争の悲惨さを、次の世代にもしっかりと語り継ぐことが、私たちの責務であり、恒久平和の確立に全力を尽くしてまいりますことを、ここに固くお誓いいたします。

終わりに、戦没された方々が安らかなることと、ご遺族並びにご参列の皆様方の御多幸と御健勝を心から祈念申し上げまして、式辞といたします。

平成二十二年九月二十一日
 帯広市長 米沢 則寿

帯広空襲の碑



※写真提供 帯広市

基本情報

所 在：帯広市総合体育館前庭
 住 所：北海道帯広市大通北1
 (JR帯広駅 徒歩20分)
 連 絡 先：帯広市生涯学習部 0155-24-4111 (代表)
 建 立 者：帯広空襲を語る会
 建 立 年：昭和60年8月11日

碑 文

【表】

帯広空襲の碑

帯広空襲を語る会

昭和60年8月11日

【裏】

この付近一帯は昭和20年7月15日

午後3時 アメリカ軍の空襲にあい、死者5名
家屋の損壊59戸の被害を受けた。

帯広市教育委員会

※帯広市の後の調査により最低でも122戸の被害が判明した。
(平成22年現在)

室蘭 艦砲射撃慰霊碑



基本情報

所 在：中島本町公園内
 住 所：北海道室蘭市中島本町2-8
 (JR東室蘭駅 徒歩17分)
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：中島社宅民和会
 建立年：昭和34年3月21日

碑 文

慰霊碑

第二次世界大戦も終局に近い昭和二十年七月十四日十五日の両日にわたる艦砲射撃のために中島社宅在住の人達百九十二名の尊い人命が失われた
 当会では終戦後毎年この人々の冥福を祈ると共にこのような過ちを再び繰り返さないために慰霊祭をおこなって来たがこの度この碑を建立し犠牲者冥福を祈るものである

昭和三十四年三月二十一日 中島社宅民和会

室蘭艦砲射撃追悼慰霊祭



※写真提供 室蘭民報社

開催概要 (平成22年度)

歳 時 名：室蘭艦砲射撃追悼慰霊祭
 会 場：中島本町公園内
 (JR東室蘭駅 徒歩17分)
 日 時：平成22年7月15日(木) ※例年7月15日開催
 参列者数：約30人
 連絡先：中島民和会事務所 0143-45-7517

式次第 (平成22年度)

1. 開催の辞
2. 黙祷
3. 読経
4. ご焼香
5. 追悼のことば及び主催者代表挨拶
6. 閉会の辞

式 辞 (平成22年度)

太平洋戦争終結を一月後に控えた昭和二十年七月十四日から十五日にかけてのアメリカ軍の空襲・艦砲射撃により、当時二千戸を抱える中島社宅の住民、配給所の家族・職員を含む百九十二名が犠牲になる事態に見舞われました。

恐怖と地獄のような惨劇を目の当たりにして、昭和二十三年九月に発足した民和会が中心となり慰霊を行う中、昭和三十四年三月二日にこの地に慰霊碑を建立し、戦火の中で逃げ惑い砲弾の直撃や防空壕で一瞬にして先を断たれて黄泉の国へと旅立った住民の方の冥福を、お祈りしてまいりました。

戦後六十五年、またこの慰霊碑前での追悼も半世紀をこえて、昨今は五十回と言う節目を過ぎてまいりました。

争いのない、平和な街づくりを誓い、平和と地域との共存共栄を旗印に、過去のつらく重い記憶を、風化させること無く、次の世代へ引き継いでゆくことが、中島地区で犠牲になられた方々の、そして慰霊碑を建立し、後世に平和の尊さ、大切さを、訴え続けてこられた諸先輩のご労苦に報いる道であると念じております。

本日、ご参列いただいたみなさまとともに、心からの焼香を手向けると共に、ご冥福と永久の平安をお祈りし、追悼のことばといたします。

平成22年7月15日
 民和会会長 小林 聖二

室蘭市戦没者並びに艦砲射撃殉難者追悼式



開催概要 (平成22年度)

歳時名：室蘭市戦没者並びに艦砲射撃殉難者追悼式
 会場：室蘭市文化センター
 (JR室蘭駅 徒歩6分)
 日時：平成22年8月27日(金) ※例年8月下旬開催
 参加者数：213人
 連絡先：室蘭市 保健福祉部 介護福祉課 0143-22-1111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式の辞…保健福祉部長
2. 国歌斉唱
3. 黙 禱
4. 平和都市宣言
朗 読
5. 式 辞…室蘭市長
6. 追悼のことば…北海道知事、室蘭市議会議長、室蘭遺族会会長
7. 献 花…室蘭市長、北海道知事、室蘭市議会議長、室蘭遺族会会長、来賓、
参加者全員
8. 閉式の辞…保健福祉部長

式 辞 (平成22年度)

多くの尊い命が失われた 先の大戦から すでに 六十五年の歳月が過ぎました
 苦難に満ちた往時を思い浮かべ ここに ご遺族並びに来賓各位のご参列をいただき室
 蘭市戦没者並びに艦砲射撃殉難者追悼式を 挙行できますことは 誠に意義深いものがあ
 り謹んで哀悼の意を捧げます
 あの長く苦しい戦いの中で わが国の将来や家族の行く末を案じながら 戦火に倒れあ
 るいは遠い異郷の地で亡くなられた 数多くの戦没者の方々 並びに本市においては終戦
 間近の あの悪夢のような艦砲射撃により 心ならずも 命を亡くされた殉難者の方々を
 思うとき 今もなお 尽きることのない悲しみが胸に込み上げてまいります
 また 最愛の肉親や一家の柱を失い 癒されることのない悲しみを胸に秘めて 幾多の
 困難を乗り越え 立派にご家族を養育されてこられた ご遺族の皆様のご労苦に対し 衷
 心より 敬意を表する次第であります
 今日の平和と繁栄は先の大戦により亡くなられた方々の 尊い犠牲と努力の上に築かれ
 ています
 わが郷土室蘭も 市民のたゆまぬ努力により 輝かしい発展を遂げてまいりましたがこ
 の伝統と資産を受け継ぎ 港とともに歩む「ものづくりのまち」の発展に全力を尽くすと
 ともに「市民が安心できるまちづくり」を進めていく所存であります
 私たちは 改めて御霊の尊い犠牲を教訓として 二度と悲惨な戦争を繰り返さないこと
 を 次の世代に継承する責任があります
 世界では いまだ地域紛争やテロが続いており 胸が痛む出来事が後を絶ちません
 「平和都市宣言」を行っている本市といたしましては 今後とも 市民とともに恒久の平和
 を切に願い 一層の努力を重ねていくことを固く誓うものであります
 終わりに 尊い命を捧げられました 多くの御霊に対し 永久に安らかならんことをお
 祈り申し上げますとともに ご遺族並びに ご参列の皆様のご健勝とご多幸を 心から祈
 念し 式辞といたします

平成二十二年八月二十七日
 室蘭市長 新宮 正志

室蘭 空襲、艦砲射撃被害者四三六柱の慰霊碑



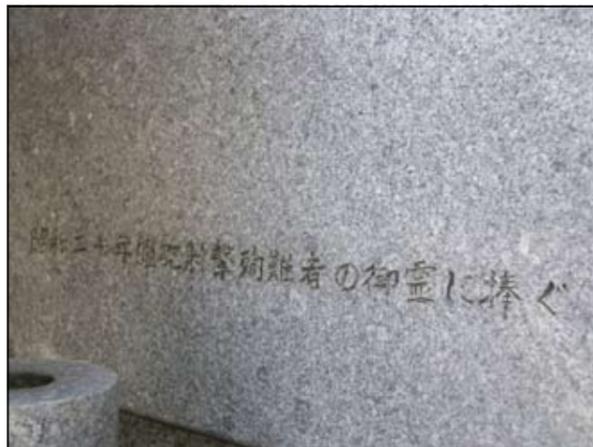
基本情報

所 在：室蘭八幡宮
 住 所：北海道室蘭市海岸町2-9-3
 (JR室蘭駅 徒歩10分)
 連絡先：室蘭八幡宮 0143-22-2428
 建 立 者：室蘭市
 建 立 年：昭和25年7月15日

碑 文

慰霊碑

昭和二十年艦砲射撃殉難者の御霊に捧ぐ



室蘭 艦砲射撃殉難者慰霊碑、慰霊之塔



基本情報

所 在：御崎神社
 住 所：北海道室蘭市御崎町2
 (JR御崎駅 徒歩10分)
 連 絡 先：不明
 建 立 者：御崎町会
 建 立 年：昭和41年7月14日

碑 文

一心欲見佛

慰霊碑

説 明 文

此の慰霊碑は昭和二十年七月
 十四十五日の艦砲射撃や空襲に
 よって死歿された方々を御慰め
 するため建立し毎年七月御崎神社
 祭典と同時に慰霊祭を行って
 おります

昭和四十一年七月十四日
 御崎町会

伊達 空襲犠牲者慰霊碑



※写真提供 ©JRCS



※写真提供 ©JRCS

基本情報

所 在：伊達赤十字病院
 住 所：北海道伊達市末永町 8 1
 (JR伊達紋別駅 徒歩 20分)
 連絡先：伊達赤十字病院 / 伊達赤十字看護専門学校同窓会 0142-23-2211
 建 立 者：伊達赤十字病院 / 伊達赤十字看護専門学校同窓会
 建 立 年：平成 7 年 8 月 3 1 日

碑 文

空襲犠牲者慰霊碑

昭和二十年七月十四日伊達赤十字病院に対するグラマン戦闘機による小型爆弾投下のため四名の尊い生命が犠牲となり八名の負傷者を数えた。

ここに、戦後五十年をむかえ、これらの死者の御魂を慰霊し碑を建立する。

病院空襲犠牲者

(氏名略)

平成七年八月三十一日
 総合病院 伊達赤十字病院
 伊達赤十字看護専門学校同窓会

伊達空襲犠牲者慰霊祭



※写真提供 ©JRCS



※写真提供 ©JRCS

開催概要 (平成22年度)

歳 時 名：伊達空襲犠牲者慰霊祭
 会 場：伊達赤十字病院・空襲犠牲者慰霊碑前
 (JR伊達紋別駅 徒歩 20分)
 日 時：平成 22 年 7 月 14 日 (水) ※例年 7 月 14 日開催
 参 列 者 数：40人
 連 絡 先：伊達赤十字病院 / 伊達赤十字看護専門学校同窓会 0142-23-2211

式 次 第 (平成22年度)

1. 開 式 の 辞
2. 黙 禱
3. 献 花 … 来賓、病院挨拶
4. 院 長 挨拶
5. 閉 会 の 辞

函館市戦没者追悼式



※写真提供 函館市

開催概要（平成22年度）

歳時名：函館市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：函館市総合福祉センター
 （JR函館駅 徒歩8分）
 日時：平成22年8月18日（水） ※例年8月中旬～下旬頃開催
 参列者数：216人
 連絡先：函館市福祉部社会課 0138-21-3111（代表）

式次第（平成22年度）

1. 開式
2. 国歌斉唱
3. 式辞… 函館市長
4. 黙祷
5. 追悼の辞… 北海道知事、函館市議会議長、函館市遺族代表
6. 献吟
7. 献花… 函館市長、北海道知事、函館市議会議長、国會議員、北海道議會議員、函館市議會議員、遺族、官公署代表、各団体代表、一般参列者、函館市連合遺族会会長
8. 挨拶… 函館市連合遺族会会長
9. 閉式

式辞（平成22年度）

本日ここに、函館市戦没者追悼式を、戦没者遺族および各界の代表者の皆様のご参列をいただき、挙行いたしますことは誠に意義深く、戦没者ならびに戦争による犠牲者に対し、謹んで追悼の誠を捧げます。

先の大戦が終わりを告げてから今日まで、六十五年の歳月が過ぎ去りました。

熾烈を極めたあの戦いの中で、祖国の安泰を願い、家族を案じつつ、戦場に散り、また、悲しくも空襲の戦禍に倒れ、さらには、遠い異郷の地で亡くなられた多くの戦没者の方々のご心情、身に余るものがあり、ここに心からご冥福をお祈りいたします。

私たち日本国民にとって先の大戦は、永遠に忘れることのできない出来事であり、残されたご遺族のお気持ちを思うと今なお、深い悲しみが胸にせまります。

戦後我が国は、たゆまぬ努力により、焦土の中から立ち上がり目覚ましい発展を遂げてまいりました。

そのなかにあつて、最愛の肉親を亡くされたご遺族の皆様は、互いに助け合い、さまざまな苦難を乗り越えて、立派に子弟を養育し、家業に精励してこられましたそのご努力に対し、心から敬意を表する次第であります。

昨今、国内では、平和で豊かな生活を享受できるようになり、この平和で豊かな今日においてこそ、過去を振り返り、戦没者の方々のご尊い犠牲を次の世代に語り継ぐとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和を確立することが、我々に課せられた責務であると存じます。

そして、このことこそが、犠牲となられた方々の御霊を鎮めることとなるものと思います。本市といたしましては、先の大戦から学びとった多くの教訓を深く心に刻み、明るく住みよい幸せな暮らしの実現を願い、核兵器廃絶平和都市宣言を行っているものであります。

本年も、長崎市の平和祈念式典には、中学生を平和大使として派遣したほか、広島市から被爆体験者を招き、ちかく講演会を開催することとしております。

私たちは、再び悲しみの歴史を繰り返さない決意を新たにし、平和を誓い、それぞれの分野においてより一層の努力をいたすことによって、諸霊をお慰めせねばならないと信じます。

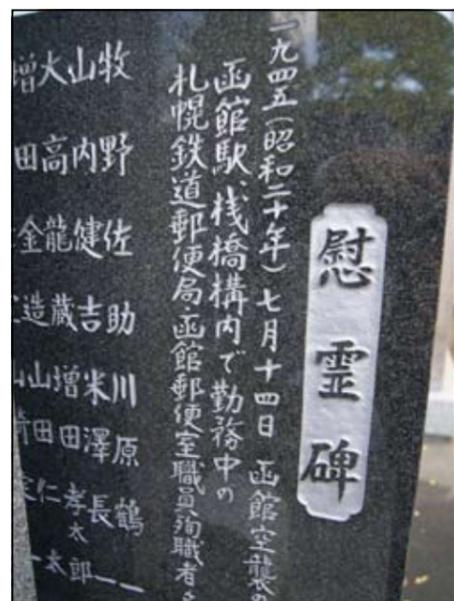
結びにあたり、戦没者ご遺族の皆様とご列席の皆様のご多幸とご健勝をご祈念申しあげまして、私の式辞といたします。

平成二十二年八月十八日 函館市長 西尾 正範

第二次世界大戦 函館空襲戦災跡地 戦災者慰霊碑 ほか



戦災者慰霊碑(中)、同碑の英語版慰霊碑(右) 米軍犠牲者の慰霊碑(左)



札幌鉄道郵便局・函館郵便室職員殉職者慰霊碑



基本情報

所 在：称名寺
住 所：北海道函館市船見町18-14
(函館市電 函館どつく前駅 徒歩7分)
連 絡 先：称名寺 0138-23-0574
建 立 者：函館空襲を記録する会
建 立 年：第二次世界大戦 函館空襲戦災跡地 戦災者慰霊碑 平成元年7月14日
札幌鉄道郵便局・函館郵便室職員殉職者慰霊碑 平成13年9月23日

碑 文

【表】

第二次世界大戦 函館空襲戦災跡地 戦災者慰霊碑

第2次世界大戦末期昭和20年(1945)7月14・15の両日アメリカ艦隊機動部隊の戦闘爆撃機グラマン・コルセア50余機により主要攻撃目標であった函館港内や津軽海峡航行中の船舶は爆撃を受けて85隻が沈没や破壊され多数の犠牲者が出ました。市内では駒止町天神町旅籠町船見町鍛冶町松風町若松町大森町海岸町等の民家が空襲を受け家屋169棟戸数384戸余を焼失。破壊家屋も多数にのぼり、多くの死傷者を出しました。特に駒止町天神町旅籠町船見町鍛冶町地区は函館空襲最大の戦災地で老人と子ども等23人が爆弾や機銃掃射を浴びて犠牲者となり、また多数の負傷者を出し384戸が全半焼しました。この戦争・空襲による悲惨な歴史的事実を想起して函館における空襲犠牲者の霊を慰め、軍縮を希求し、平和を守り抜く誓いを堅持いたしたく、有志者一同が称名寺住職須藤隆仙師の御高配を頂いて、戦災跡地を見下ろすこの境内に記念碑を建立しました。

【裏】

この碑は日本国憲法第九条「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。」条文を遵守し 真の平和を願う536名の浄財によって建立されました。

戦災者氏名 西部地区方面

(氏名略)

戦災者の証言により記載しました
平成元年(一九八九)七月十四日
第二次世界大戦 函館空襲を記録する会

慰霊碑

一九四五(昭和二十年)七月十四日 函館空襲の際函館駅、棧橋構内で勤務中の札幌鉄道郵便局・函館郵便室職員殉職者名

(氏名略)

二〇〇一(平成十三年)九月二十三日
函館空襲を記録する会 建立

東 北

青函連絡船戦災の碑



基本情報

所在地：青森港・青函連絡船八甲田丸の南側
 住所：青森県青森市柳川1
 (JR青森駅 徒歩5分)
 連絡先：青森空襲を記録する会 017-777-6200
 建立者：青森戦災・空襲六〇周年事業実行委員会
 建立年：平成17年7月14日

碑文

青函連絡船戦災の碑

青函連絡船は、青函トンネルの完成により廃止されましたが、八〇年の歴史の中で、「戦災」の悲劇を忘れ去ることはできません。

第二次世界大戦末期の、一九四五年(昭和二〇年)七月一四日、米海軍艦載機の攻撃により、物流の大動脈であった青函連絡船「翔鳳丸」「飛鷺丸」「第二青函丸」「第六青函丸」が、八月一〇日には「亜庭丸」が青森湾で撃沈され、一三一名の犠牲者を出しました。この中に、函館船員養成所大沼分所の生徒一四名(当時一四、五歳)がおり、悲しみを一層大きくしました。

また、七月一四・一五日に津軽海峡と函館湾でも攻撃を受け、青函連絡船は全滅をし、乗員乗客四二四名の尊い人命が失われました。

今も、津軽海峡には「津軽丸」「第三青函丸」「第四青函丸」が、この航路に殉じた人々と共に、永久の眠りについていきます。

青森市民の目前で繰り広げられた、悲惨で残酷な空襲・戦災から六〇年を経ましたが、今では、当時の惨状を止めるものはなく、人々の記憶からも薄れ、知らない世代が増え、風化されつつあります。

青函連絡船戦災から六〇年目にあたり、この悲劇を歴史に止め、語り継ぐとともに犠牲となられた方々のご冥福と平和を衷心より祈念し、この碑を建立いたしました。

二〇〇五年(平成一七年)七月一四日
 六〇年目の空襲・戦災の日に

青函連絡船戦災犠牲者追悼・平和祈念の集い



開催概要 (平成22年度)

歳時名：青函連絡船戦災犠牲者追悼・平和祈念の集い
 会場：青森港・青函連絡船八甲田丸の南側
 (JR青森駅 徒歩5分)
 日時：平成22年7月14日(水) ※例年7月14日および28日開催
 参列者数：約50人
 連絡先：青森空襲を記録する会 017-777-6200

式次第 (平成22年度)

1. 開 会
2. 黙 祷
3. 主催者挨拶
4. 来賓ご挨拶…青森市長、青函連絡船戦災者遺族代表
5. 折鶴献呈…主催者、ご来賓、ご出席者
6. 閉 会

式 辞 (平成22年度)

「青函連絡船戦災犠牲者追悼・平和祈念の集い」が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

ここにございます「青函連絡船戦災の碑」は、青森空襲を記録する会の皆様を始めとする青森戦災60周年事業実行委員会の皆様のご尽力と、平和の尊さについて多くの市民の皆様からのご賛同やご協力のもと、平成17年7月にまさに全市民的な取り組みとして、建立されたものであります。

本日は、この碑の前におきまして、戦災により亡くなられた方々のご冥福と恒久平和を祈念すると共に、青森空襲の風化を防ぎ、次代の人々に語り継ぎ、歴史に留め続けることを心から願い、このような集いを開催されますことは、誠に意義深いものと存じます。

青函連絡船は、明治41年比羅夫丸の就航により開業し、その後、田村丸と続き、大正13年5月には、翔鳳丸が就航しております。

この翔鳳丸の爆撃を受けている姿が、石碑の前面中央に配置されておりますが、終戦直前の昭和20年7月14日、米軍の航空母艦から発進した艦載機が、大編隊で北海道の各港湾と青函連絡船を襲撃、8月10日に空襲もあり、青函連絡船13隻が全滅し多くの尊い命が犠牲となりました。

歳月が経つにつれ、先の大戦の悲惨な様子は、記憶から薄れて参りますことは否めませんが、この平和な時代にあつてこそ、戦争の悲惨さと、そこに幾多の尊い犠牲があつたことを後世に語り継いで行くことが、現代に生きる私たちの使命と考えます。

本集いの開催など、ご尽力賜りました青森空襲を記録する会の皆様による平和を願い、命の尊さを後世に語り継ぐ日頃の活動に対し、心から敬意を表しますと共に、本会のご発展と本日ご出席の皆様方のご健勝ご活躍を祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

平成22年7月14日
 青森市長 鹿内 博

青森市戦没者慰霊祭



※写真提供 青森市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：青森市戦没者慰霊祭 ※一般戦災死没者を含む
 会場：県民福祉プラザ 県民ホール
 (JR青森駅より青森市交通 バス停「働く女性の家前」下車 徒歩1分)
 日時：平成22年7月28日(水) ※例年7月28日開催
 参加者数：220人
 連絡先：青森市 総務課 017-734-1111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開 式
2. 市民歌斉唱…青森市立南中学校合唱部
3. 黙 禱
4. 主催者追悼の…青森市長、青森市議会議長
ことば
5. 来賓追悼の…青森県知事、慰霊祭参加者代表(青森市遺族会会長)
ことば
6. 献 花…青森市長、青森市議会議長、青森県知事、青森県議会議長、青森市選出国議員、青森市町会連合会会長、青森県遺族連合名誉会長、青森県遺族連合会長、青森市遺族会会長、浪岡遺族会会長、青森平和記念像管理財団理事長、青森市戦災者遺族会会長、青森空襲を記録する会会長、英霊にこたえる会青森県本部会長、青森市副市長、青森市浪岡区長
7. 追悼合唱…青森市立南中学校合唱部 2曲(春の小川、茶摘)
8. 閉 式

式 辞 (平成22年度)

本日、ここに御遺族の皆様、ご来賓の皆様、そして多数の市民の皆様をお迎えして、「青森市戦没者慰霊祭」を執り行うに当たり、先の大戦で亡くなられたすべての御霊に対し、青森市民を代表し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

今を去る六十五年前の先の大戦の終結に思いを巡らせば、往時の苦難と悲しみが昨日のことに蘇り、痛惜の念を禁じ得ません。

先の大戦において、いとしい家族を家郷に残しながら遠い戦いの地において、あるいは、故郷において、多くの尊い命が失われたことに思いを致すとき、改めて戦争の引き起こす数々の悲しみで心が痛みます。また、愛する御家族を失い、慟哭の日々を過ごされた御遺族の皆様方の御心情は察するに余りあり、今なお、沈痛の思いが胸に迫って参ります。

昭和20年7月28日、焼夷弾の投下による猛火は、青森市を包み、その9割余が灰燼に帰し、市の公会堂、長島小学校、古川小学校などが僅かに残り、当時は市内のどこからでも海が見えたと言われております。

青森市は、このような瓦礫の中から力強く立ち上がり、県都としての責任を担い、今や行政・経済・文化の中核である、中核都市に成長して参りました。

これもひとえに、御家族と故郷の安寧を念じながら無念にも亡くなられた方々の御加護と、郷土の復興のため一途に心を傾け、力を尽くしていただいた先人達の弛まぬ御努力の賜物であり、深甚なる敬意と感謝を捧げる次第であります。

歳月が経つにつれ、先の大戦の悲惨な様子が、人々の話題と記憶から次第に薄れて参りますことは否めませんが、現在、私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄が、戦禍の中で散華された多くの同胞の尊い犠牲の上に成り立っているという事実を決して忘れてはなりません。

この平和な時代においてこそ、こうした史実を風化させることなく、次の世代に語り継いでいくことは、今を生きる私たちに課せられた重要な使命であり、今ここに改めて、永久の平和を心より願うものであります。

終わりに、戦没者各位の御霊がとこしえに安からんことを願い、また、在天の光として我がふるさと青森の繁栄を見守りたまうことを念じ、併せて、御遺族の皆様方の御健康と御多幸を祈念いたしまして、追悼のことばといたします。

平成22年7月28日 青森市長 鹿内 博

「空襲・戦災都市 青森」の碑



基本情報

所 在：青森市役所前
 住 所：青森県青森市中央1-22-5
 (JR青森駅 徒歩20分)
 連 絡 先：青森空襲を記録する会 017-777-6200
 建 立 者：青森戦災・空襲六〇周年事業実行委員会
 建 立 年：平成17年7月28日

碑 文

空襲・戦災都市 青森

青森市は、第二次世界大戦末期の、一九四五年（昭和二〇年）七月二八日夜半、米軍B二九爆撃機六二機の空襲を受け、M七四焼夷弾八三〇〇発の投下により、市街地の約九〇パーセントを焼失し、一〇一八名もの尊い人命と財産を失いました。

また、同年七月一四・一五日と八月九・一〇日には、米軍艦載機により青函連絡船や県内の港湾施設、鉄道、飛行場などが攻撃を受け、一七三名の人命が失われ、合計一一九一名もの人々が犠牲になったと報告されていますが、大半の方々の氏名は、いまだ明らかになっていません。

あの悲惨で残酷な空襲・戦災から六〇年を経て、青森市は、廃墟から立ち上がった市民の努力により、みごとに復興しました。

しかし、今は、当時の惨状を止めるものではなく、人々の記憶からも薄れ、知らない世代が増え、風化しようとしています。

空襲・戦災から六〇年目に当たり、犠牲となられた方々のご冥福と平和を衷心より祈願し、青森市が戦災都市であることを歴史に止め、語り継ぐため、焼失した県立病院の跡地（現・市役所）に、この碑を建立いたしました。

二〇〇五年（平成一七年）七月二八日

六〇年目の空襲・戦災の日に

青森平和観音像



基本情報

所 在：青森市柳町通り
 住 所：青森県青森市長島1
 (JR青森駅 徒歩15分)
 連絡先：青森平和記念像管理団体 017-776-4455
 建 立 者：青森仏教会
 建 立 年：昭和39年7月28日

碑 文

平和の礎となった
 人々のために

説 明 文

青森平和観音像の由来

大東亜戦争終結の直前昭和二十年七月二十八日夜半の青森大空襲で街は一万五千余戸を焼失し市民約七百四十余名が戦災死した当時知事であった金井元彦氏はこの平和の礎となった人々の御霊を慰め且つ又県市民の復興と平和を護る心の據りどころとして観音像建立を発願した昭和二十二年企画し物資欠乏を克服して翌二十三年七月完成し場所を県市民の朝夕接し得る柳町国道十字路上に選り安置されたが市の復興は予想以上に早かったためその交通の要衝を避けて現在地に奉遷した
 御像は丈七尺青銅製で三国慶一氏の作である台座深く十勾観音経と戦災者の法名を秘蔵してある

昭和三十九年七月二十八日 誌

青森空襲犠牲者霊供養の鐘



基本情報

所 在：青森市三内霊園
 住 所：青森県青森市大字三内字沢部353
 (JR新青森駅 徒歩20分)
 連 絡 先：青森市三内霊園 017-766-0609
 寄 贈 者：新藤扶瑳次
 寄 贈 年：昭和58年8月1日

銘 文

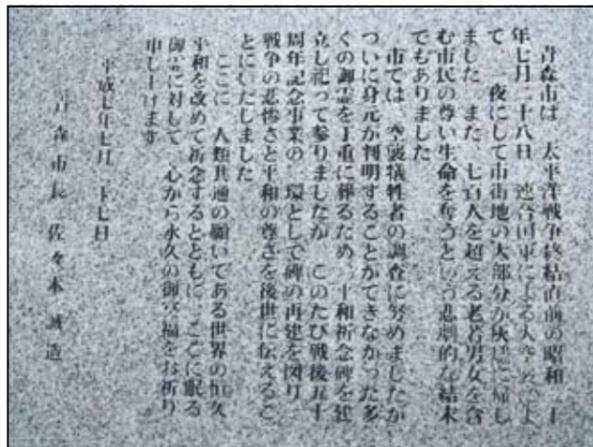
昭和二十年七月二十八日夜
 青森市空襲犠牲者慰霊供養

寄贈者 新藤扶瑳次
 昭和五十八年八月一日古稀祝

説 明 文

三内霊園には七百有余の貴い人命が
 昭和二十年七月二十八日夜アメリカB29の
 盲爆の犠牲になり今静かに眠っています

平和祈念碑



基本情報

所 在：青森市三内霊園
 住 所：青森県青森市大字三内字沢部353
 (JR新青森駅 徒歩20分)
 連絡先：青森市三内霊園 017-766-0609
 建 立 者：青森市
 建 立 年：平成7年7月27日

碑 文

平和を祈念して

青森市は、太平洋戦争終結直前の昭和二十年七月二十八日、連合国軍による大空襲によって、一夜にして市街地の大部分が灰燼に帰しました。また、七百人を超える老若男女を含む市民の尊い生命を奪うという悲劇的な結末でもありました。

市では、空襲犠牲者の調査に努めましたが、ついに身元が判明することが出来なかった多くの御霊を丁重に葬るため、平和祈念碑を建立し祀って参りましたが、このたび戦後五十周年記念事業の一環として碑の再建を図り戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えることにいたしました。

ここに、人類共通の願いである世界の恒久平和を改めて祈念するとともに、ここに眠る御霊に対して、心から永久のご冥福をお祈り申し上げます。

平成七年七月二十七日
 青森市長 佐々木 誠造

土崎空襲犠牲者追悼平和祈念式典



開催概要 (平成22年度)

歳時名：土崎空襲犠牲者追悼平和祈念式典
 会場：秋田市ポートタワー・セリオン
 (JR土崎駅 徒歩10分)
 日時：平成22年8月14日(土) ※例年8月14日開催
 参列者数：約270人
 連絡先：土崎港被爆市民会議 018-845-2688

式次第 (平成22年度)

第一部 土崎空襲65年犠牲者追悼平和祈念式典

1. 開式のことば
2. 黙 禱
3. 主催者のあいさつ…土崎港被爆市民会議会長
4. 来賓あいさつ…秋田市長、秋田市議会議員、秋田県知事、秋田県議会議員
5. メッセージ紹介
6. 献 花
7. 閉 式

第二部 「21世紀子どもたちから平和のメッセージ」発表会

1. メッセージ発表…市内小学生、中学生
2. 紙 芝 居…「築山からの誓い」秋田市立土崎南小学校児童
3. 講評・記念品贈呈…「平和のメッセージを贈る会」代表者

メッセージ (平成22年度)

本日、御遺族をはじめ関係者が一堂に会し、土崎空襲犠牲者追悼平和祈念式典が執り行われるにあたり、ここ土崎地区において、先の大戦最後の空襲を受け、犠牲になられた多くの御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

終戦から65年の歳月が過ぎ、戦争を知らない世代が国民の多数を占める中、戦争が遠い過去の出来事のように思われがちです。

しかし、世界では、今なお、戦争やテロが絶えることなく、国際情勢も依然として厳しい状況にあります。

本日の日本が享受している平和と豊かさは多くの人々の尊い犠牲の上に築かれていることを忘れてはなりません。

戦後、本県は、県民の英知とたゆみない努力によって幾多の困難を乗り越え、発展してまいりました。

平和で豊かな今こそ、先の大戦から学び取った多くの教訓を深く心に刻み、戦争のもたらす悲惨さと平和の大切さを、次代を担う若い世代に語り継ぐとともに、世界の恒久平和を確立するため、全力を尽くしてまいりますことをここに誓います。

平成22年8月14日
 秋田県知事 佐竹 敬久

秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典



※写真提供 秋田市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典 ※一般戦災死没者を含む
 会場：秋田市文化会館
 (JR秋田駅より秋田中央交通 バス停「文化会館八橋球場前」下車 徒歩1分)
 日時：平成22年9月3日(金) ※例年9月第1金曜日開催
 参列者数：260人
 連絡先：秋田市 福祉保健部 福祉総務課 地域福祉推進室 018-866-2090

式次第 (平成22年度)

1. 開 式
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式 辞… 秋田市長
5. 追悼のことば… 秋田県知事、秋田市議会議長、戦没者遺族代表・秋田市遺族会会長
6. 献 花… 秋田市長、秋田県知事、秋田市議会議長、秋田市遺族会会長、土崎港被爆市民会議会長、衆議院議員、参議院議員、秋田県議会議員、秋田市議会議員、秋田県遺族連合会会長、秋田市傷痍軍人会会長、秋田市社会福祉協議会会長、秋田市母子寡婦福祉連合会会長
7. 「平和へのメッセージ」朗読
8. 閉 式

式 辞 (平成22年度)

本日、戦没者ならびに被災者のご遺族の皆様をはじめ、ご来賓の皆様のご参列をたまわり、第1回秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典を挙げるにあたり、秋田市を代表いたしまして式辞を申し上げます。

先の大戦では、故郷を離れ、凍てつく極寒の荒野や灼熱の南方地域で、祖国の平和と発展、そして何よりも家族の安泰を思いながらも、熾烈な戦闘で傷つき、あるいは戦後に至るまで異境の地に残され、飢えや病に苦しみながら帰らぬ人となるなど、多くの尊い命が失われました。戦禍に散った秋田市関係戦没者、4千人余の皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、時を経ても、なお癒されることのないご遺族の皆様のご深い悲しみと追慕の念に思いをいたすとき、万感胸に迫るものがあります。かけがえのない肉親を亡くされ、長きにわたりその悲しみに耐えながらも、戦没者の志を引き継いで家族を支え、今日まで歩んでこられましたご遺族の皆様へ、深甚なる敬意を表するものであります。

さて、戦後、わが国は、戦争によりもたらされた苦しみと悲しみへの深い反省から、敢然として平和の道を歩み、国家再建に邁進してまいりました。秋田市におきましても、市民の皆様のご不屈の努力により、水と緑豊かな美しい32万人の中核市へと発展いたしました。

誰もが平和を享受できる社会となった反面、戦争当時の記憶の風化が懸念され、私たちが普段何気なく過ごしているこの平和と繁栄は、戦争により心ならずも命を落とされた、多くの皆様の尊い犠牲を礎にしていることを、決して忘れてはなりません。

戦争体験を語る事ができる世代のみならず、次の世代の高齢化も進んでいる今、戦争の悲惨さを改めて心に刻み、この記憶を風化させることなく、次の世代に正しく引き継いでいかなければなりません。

また、終戦前夜の昭和20年8月14日、土崎地区が米軍機による激しい爆撃を受けました。日本で最後となったこの空襲により、250名以上の尊い命が奪われました。

この痛ましい出来事が、本市で起こった現実であることを深く心に刻むとともに、恒久平和の大切さを後世にしっかりと伝えていくことが、私たちに課せられた責務であると考えております。

今年、終戦から65年という節目を機に、本市出身の戦没者および空襲により被災され犠牲となられたすべての市民の皆様を追悼するとともに、恒久平和を祈念するため、本日初めて本市主催による秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典を執り行うことにいたしました。

また、現代の社会と戦争について考える機会として、原爆資料展を引き続き開催するとともに、新たに、被爆や戦争、平和をテーマに、子どもたちへの絵本の読み聞かせを行う「平和の朗読会」を秋田市出身の女優、浅利香津代さんを迎え、市内の小学校で実施しております。

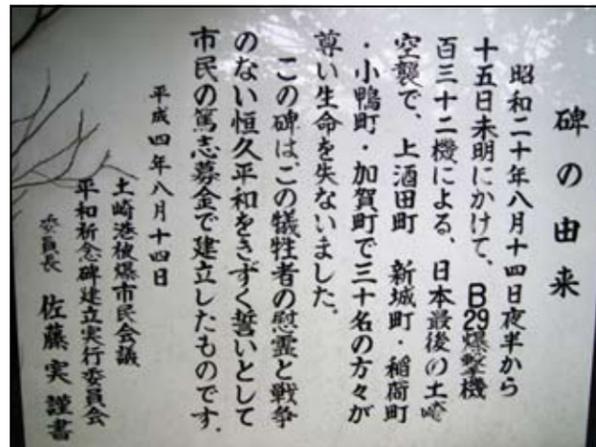
さらに、次代を担う子どもたちにも平和な社会について考える機会として、「平和へのメッセージ」を、本日の式典の中で後ほど朗読していただく予定となっております。

このように、本市といたしましては、恒久平和の実現に向け、多様な取り組みを実施していくとともに、子どもから高齢者のかたまで、すべての世代の市民の皆様が安心して暮らすことができる秋田を目指し、全力を尽くすことをここに改めてお誓い申し上げます。

結びに、無念の最期を遂げた戦没者の皆様ならびに被災され犠牲となられた市民の皆様がやすらかなることを祈念申し上げ、式辞といたします。

平成22年9月3日 秋田市長 穂積 志

平和祈念碑（祈恒久平和）



基本情報

所 在：雄物岸街区公園
 住 所：秋田県秋田市土崎港西2-4
 （JR土崎駅 徒歩15分）
 連絡先：土崎港被爆市民会議 018-845-2688
 建 立 者：土崎港被爆市民会議 平和祈念碑建立実行委員会
 建 立 年：平成4年8月14日

碑 文

祈恒久平和

秋田市長

石川 鍊治郎

説 明 文

碑の由来

昭和二十年八月十四日夜半から十五日未明にかけて、B29爆撃機百三十二機による、日本最後の土崎空襲で、上酒田町 新城町・稲荷町・小鴨町・加賀町で三十名の方々が尊い生命を失いました。

この碑は、この犠牲者の慰霊と戦争のない恒久平和をきずく誓いとして市民の篤志募金で建立したものです。

平成四年八月十四日
 土崎港被爆市民会議
 平和祈念碑建立実行委員会
 委員長 佐藤 実 謹書

平和を祈る乙女の像



基本情報

所 在：秋田市ポートタワー・セリオン付近
 住 所：秋田県秋田市土崎港西1
 (JR土崎駅 徒歩20分)
 連 絡 先：土崎港被爆市民会議 018-845-2688
 建 立 者：土崎港被爆市民会議
 建 立 年：昭和54年8月15日

碑 文

【表】

慰霊

【裏】

日本が開国以来の大敗戦を喫した昭和二十年八月十五日の前夜半、わが郷土は「日本石油」を中心に米
 国空軍の猛爆撃を受け、市民、軍人およそ一八四名の犠
 牲者を出すに至った。

その後昭和五十年「被爆市民会議」の発足成り爾来
 各種の慰霊行事を行なって来たが、漸くここに官民一
 致の協力を得て、其の霊を永遠に慰むべく慰霊塔
 の建立を見るに至った。

願わくば諸霊とこしないに安らかに、以て世界の恒久
 平和と郷土の繁栄を守り給わらんことを。

昭和五十四年八月十五日
 土崎港被爆市民会議会長 藤田溪山 謹誌

慰霊碑つばさ



基本情報

所 在：古川町街区公園（土崎公民館前）
 住 所：秋田県秋田市土崎港西4-3
 （JR土崎駅 徒歩15分）
 連 絡 先：土崎港被爆市民会議 018-845-2688
 建 立 者：土崎港被爆市民会議 平和祈念碑建立実行委員会
 建 立 年：平成3年8月14日

碑 文

祈恒久平和

この周辺は、一九四五年八月十四日
 夜半から、終戦の十五日未明にかけて
 米軍機B29による日本最後の土崎空襲
 で犠牲になった百数十人の遺体を鉄道
 線路上に置かれた痛恨の地である。

ここに、慰霊と恒久平和の誓いを捧
 げる。

一九九一年八月十四日

建立

土崎港被爆市民会議
 平和祈念碑建立実行委員会
 文 委員長佐藤実
 吉田金也謹書

高射砲台座の上に建てられた慰霊碑



基本情報

所 在 地：相染町の住宅街
 所 在 地：秋田県秋田市土崎港相染町字浜ナシ 2-1 地内
 (JR土崎駅 徒歩40分)
 連 絡 先：不明
 建 立 者：秋田市土崎港相染字緑町々内会一同
 建 立 年：昭和40年8月14日

碑 文

【表】

慰霊塔

秋田県知事小畑勇二郎書

【裏】

この塔を建てた由来

この町内は太平洋戦争の末期の昭和二十年八月十四日から同十五日にかけて連合軍の大型爆撃機延べ二百五十機により約二千発の爆弾を投下され猛爆を受けたのであるがその際当地を警備中の独立高射砲隊（高射砲一箇中隊高射機関銃一箇小隊）および同隊を救援するため駆けつけた郷土部隊は最後まで勇敢に応戦し隊員の大部分が戦死されまた同時に一般市民も多数被爆し尊い命の失われた秋田県でただ一つの戦場であったのである よってこの人々の霊を慰めあわせてこの戦跡を永久に記念し再び戦争の悲劇をくりかえさぬことを誓うため当町内一同の総意によってここにこの塔を建立したのである

昭和四十年八月十四日

秋田市土崎港相染字緑町々内会一同

平和祈念碑(土崎空襲 犠牲者に捧げる 慰霊平和)



基本情報

所 在：秋田サンライズゴルフセンター脇
 住 所：秋田県秋田市土崎港相染町字浜ナシ山7-4付近
 (JR土崎駅 徒歩30分)
 連 絡 先：不明
 建 立 者：祈念碑建立実行委員
 建 立 年：平成7年8月14日

碑 文

土崎空襲 犠牲者に捧げる

慰霊平和

祈念碑建立実行委員長 佐藤 実 謹書

平成七年八月十四日



釜石市戦没者追悼式



開催概要 (平成22年度)

歳時名：釜石市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：釜石市民文化会館
 (JR釜石駅 徒歩15分)
 日時：平成22年8月9日(月) ※例年8月9日開催
 参加者数：380人
 連絡先：釜石市 保健福祉部 地域福祉課 0193-22-2111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式のことば… 市副市長
2. 国歌斉唱
3. 黙 禱
4. 式 辞… 釜石市長
5. 追悼のことば… 釜石市議会議長、岩手県遺族連合会会長、戦没者遺族代表
6. 電報披露… 釜石市保健福祉部長
7. 平和への思い… 作文コンクール優秀賞受賞者
8. 献 唱… 翳った太陽を歌う会
9. 献 花… 釜石市長、来賓、一般参加者
10. 閉会のことば… 釜石市副市長

式 辞 (平成22年度)

本日ここに、平成二十二年度釜石市戦没者追悼式を挙げるにあたり、戦没者並びに戦災殉難者の御霊に対し、謹んで追悼の誠を捧げます。

多くの尊い命が犠牲となった先の大戦から、六十五年の歳月が過ぎ、私たちは、今年も平和と繁栄を享受する中、この日を迎えました。

先の太平洋戦争をはじめ、過去の戦争において、軍人や軍属の方々はもとより、徴用、或いは動員された学徒や一般市民の方々が国の内外において散華されました。

当市においては、太平洋戦争の終結が間近であった昭和二十年七月十四日と、本日、八月九日の二度にわたり熾烈な艦砲射撃によって、市街地は壊滅的な打撃を受けて焼け野原となり、多くの尊い命が失われました。

犠牲者の中には、遠い異国の地であるこの釜石において、尊い命を失うという数奇な運命を辿った外国人の方々がおられることも忘れてはなりません。

また、世界唯一の被爆国として、広島や長崎に原子爆弾が投下され、瞬時にして、十数万人の同胞が犠牲となり、今なお、その後遺症に苦しむ方もおられます。

これらの出来事は、私達にとって、永遠に忘れることのできない深い哀しみであります。

我々釜石市民は、これからのことを決して忘れることなく、戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、平和の実現に向けて努力することが、私達に課せられた使命であると考え、昭和三十四年に平和都市を昭和六十一年には非核平和都市を宣言し、また、本日もいみじくも「釜石市戦災資料館」を開館いたしました。

戦後、わが国は国民一人一人のたゆまぬ努力により、世界有数の経済大国へと飛躍的な発展を遂げて参りました。

しかし、今日の平和と発展は、祖国を思い、家族を案じつつ、花と散っていった諸霊の尊い犠牲の上に築かれたものであることを肝に銘じなければなりません。

今日まで、多くの市民の方々が艦砲射撃により瓦礫の山と化した中、或いは戦後の中で、家族を失った哀しみに耐え、チャレンジ精神の不撓不屈の精神を持って、あらゆる困難と苦境を乗り越えて、郷土の復興と発展に精励されました。

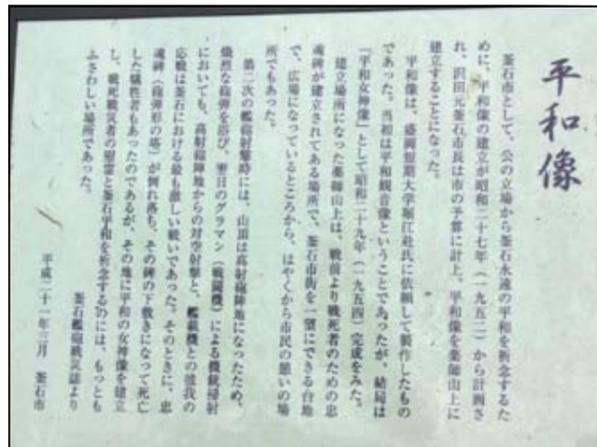
その並々ならぬご尽力に対し、心から敬意を表します。

この式典に臨み、私は、戦没された方々の御霊をお慰め申し上げ、平和への願いを改めて深く心に刻み、この悲惨な戦争の記憶を風化させることなく語り継いで行くため、一層の努力をして参ることを固くお誓いいたします。

結びに、戦没された方々のご冥福と、ご参列の皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして式辞とさせていただきます。

平成二十二年八月九日 釜石市長 野田 武則

平和女神像



基本情報

所 在：薬師公園
 住 所：岩手県釜石市大町
 (JR釜石駅 徒歩15分)
 連 絡 先：釜石市 産業振興部 観光交流課 0193-22-2111 (代表)
 建 立 者：釜石市
 建 立 年：平成21年3月

説明文

平和像

釜石市として、公の立場から釜石永遠の平和を祈念するために、平和像の建立が昭和二十七年（一九五二）から計画され、沢田元釜石市長は市の予算に計上、平和像を薬師山上に建立することになった。

平和像は、盛岡短期大学堀江赴氏に依頼して製作したものであった。当初は平和観音像ということであったが、結局は「平和女神像」として昭和二十九年（一九五四）完成をみた。

建立場所になった薬師山上は、戦前より戦死者のための忠魂碑が建立されてある場所で、釜石市街を一望にできる台地で、広場になっているところから、はやくから市民の憩いの場所でもあった。

第二次の艦砲射撃時には、山頂は高射砲陣地になったため、熾烈な砲弾を浴び、翌日のグラマン（戦闘機）による機銃掃射においても、高射砲陣地からの対空射撃と、艦載機との彼我の応戦は釜石における最も激しい戦いであった。そのときに、忠魂碑（砲弾形の塔）が倒れ落ち、その碑の下敷きになって死亡した犠牲者もあったのであるが、その地に平和の女神像を建立し、戦死戦災者の慰霊と釜石平和を祈念するのには、もっともふさわしい場所であった。

釜石艦砲戦災誌より
 平成二十一年三月 釜石市

嬉石町山林の地蔵

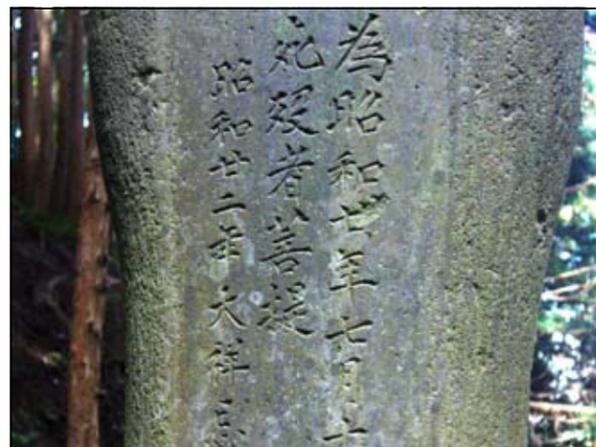


基本情報

所在：釜石市嬉石町 山林
 住所：岩手県釜石市嬉石町 1
 (JR釜石駅 徒歩25分)
 連絡先：不明
 建立者：不明
 建立年：昭和22年

碑文

為昭和廿年七月十四日戦災
 死歿者菩提
 昭和廿二年大祥忌之辰建立



花巻市戦没者追悼・平和祈念式



開催概要 (平成22年度)

歳時名：花巻市戦没者追悼・平和祈念式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：日居城野運動公園内中央広場
 (JR花巻駅より岩手県交通 バス停「花巻球場前」下車 徒歩1分)
 日時：平成22年8月10日(火) ※例年8月10日開催
 参列者数：625人
 連絡先：花巻市生活福祉部 地域福祉課 0198-24-2111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式のことば… 花巻市副市長
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辞… 花巻市長
5. 追悼のことば… 花巻市議会議長、遺族代表
6. 献花
7. 平和への誓い… 花巻市立西南中学校一年 長野 尚人さん
8. 合唱… 岩手県立花巻北高等学校合唱部
9. 非核平和都市宣言
10. 閉式のことば… 花巻市副市長

式辞 (平成22年度)

今年も穏やかに、この日を迎えることができました。

ここに戦没者の方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、最愛の親族を失われたご遺族の皆様、今なお、変わることのない悲しみに心から哀悼の意を表します。

先の大戦が終わりを告げて六十五年。戦いのなか、祖国を思い、家族を案じつつ、戦場に倒れ、遠い異郷の地で亡くなられた皆さん。そして、昭和二十年の今日、花巻を襲った空襲により、命を失うこととなった皆さん。

私たちは平穏な姿が見えますか。私たちの平和な地域社会が見えますか。

戦後日本は、たゆまぬ努力により、飛躍的な発展を遂げてきました。これは、皆さんを失った悲しみや苦しみに耐え、幾多の困難を乗り越えてこられた、ご遺族の並々ならぬご苦労の賜であり、ここにそのご努力に対し、改めて心から敬意を表します。

平和で豊かな社会が築かれ、戦後に生まれた世代が大半を占めるに至った今、私たちは、皆さんが、かけがえのない命をもって示された平和の尊さを決して忘れることなく、深く心に刻み、未来を担う世代にしっかりと継承してまいります。

核兵器廃絶の動きも世界に広がりつつあります。戦没者の皆さんの心と、私たちの平和への決意をつなぐ、この「平和の扉」を前に希望にあふれ世界全体が心豊かに暮らすことができる社会の実現に向けて、この花巻から平和への願いを発信し続けることをここに誓い、式辞といたします。

平成二十二年八月十日
 花巻市長 大石 満雄

爆弾投下塔 平和の誓



基本情報

所 在：藤木大明神
 住 所：岩手県花巻市大通り1
 (JR花巻駅 徒歩2分)
 連 絡 先：不明
 建 立 者：菊池彦次郎
 建 立 年：昭和30年8月10日

碑 文

【表】

昭和二十年八月十日

爆弾投下塔

平和乃誓ひ

引揚援護長官 齋藤惣一
 同胞とむつび あいつつ
 新なる國の礎 きづきゆかばや
 菊池氏に
 引揚同胞に對する好意に感じて

【裏】

昭和三十年八月十日 菊池彦次郎建立

やすらぎの像



基本情報

所 在： J R花巻駅 東口ロータリーの東端
 住 所： 岩手県花巻市駅前大通り 1-1-43-2 付近
 (J R花巻駅 徒歩1分)
 連 絡 先： 花巻市 都市整備課 0198-24-2111 (代表)
 建 立 者： 花巻空襲に基づく平和祈念の像建設促進会議 ほか
 建 立 年： 平成7年3月

碑 文

【表】

「やすらぎの像」

昭和二十年八月、太平洋戦争の終戦間際、花巻市内が空襲を受けましたが、特に、この花巻駅周辺の空襲は激しく、死者負傷者多数を数えたほか、建物等にも甚大な被害を受けたのであります。

爾来、多くの方々の不屈の精神と心血を注ぐ努力により、焦土と化した花巻駅周辺をはじめとする市街地も見事に復興整備をみたところ です。

都市基盤の整備が進む今日、市民から平和祈念の像の建設の話が持ち上がり、建設促進会議が中心となって広く市民に呼びかけたところ、壱千弐百万円を越す浄財が寄せられました。

ここに、戦後五十年を迎え、花巻空襲の激しかったこの地に、恒久平和を願い「やすらぎの像」を建立するものです。

平成七年三月建立
 花巻市長 吉田 功

【裏】

「やすらぎの像」建立について

市老連会長佐藤通郎氏が中心となり
 次の団体の努力を得て建立しました。

花巻空襲に基づく平和祈念の像建設促進会議
 花巻市老人クラブ連合会
 花巻市地域婦人団体協議会
 花巻市区長会

原像作成 池田次男
 制 作 岩手製鉄株式会社

昭和20年(1945年)8月10日ひる

来 襲	米軍艦載機グラマン15機
投下爆弾	20個(推定)
機銃掃射	各所
死 者	42名
負 傷 者	約150名
焼失家屋	673戸
倒壊家屋	61戸

資料 花巻市中央公民館発行
 「忘れまいあの日」より

平和の祈り



基本情報

所 在： J R 似内駅脇
 住 所： 岩手県花巻市上似内第 9 地割付近
 (J R 似内駅 徒歩 1 分)
 連 絡 先： 不明
 建 立 者： 上似内振興会
 建 立 年： 平成 1 7 年 8 月 1 0 日

碑 文

【表】

平和の祈り

【裏】

昭和二十年（一九四五）八月十日太平洋戦争の末期、米軍の戦闘機による爆撃を受けこの地で次の五名が尊い命を失った。

（氏名略）

終戦六十周年を記念し、上似内地区民は永久の平和を希求しここに記念碑を建立す

平成十七年（二〇〇五）八月十日

上似内振興会



仙台市戦没者・戦災死者合同慰霊祭



開催概要（平成22年度）

歳時名：仙台市戦没者・戦災死者合同慰霊祭
会場：仙台市青年文化センター 交流ホール
（市営地下鉄 旭ヶ丘駅 徒歩3分）

日時：平成22年7月10日（土） ※例年7月10日開催

参列者数：150人

連絡先：仙台市健康福祉局 社会課 022-261-1111（代表）

式次第（平成22年度）

1. 開 会
2. 黙 祷
3. 式 辞 … 仙台市長 奥山 恵美子
4. 追 悼 の 辞 … 宮城県知事、仙台市議会議員、宮城県連合遺族会会長、宮城県連合遺族会仙台支部長
5. 献 花
6. 閉 会

式 辞（平成22年度）

本日、ご遺族の皆様をはじめご来賓の皆様の御臨席を賜り、仙台市戦没者戦災死者合同慰霊祭を挙げるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

歳月の流れは早いもので、先の大戦が終わりを告げてから65年が過ぎ去ろうとしています。苛烈を極めた戦いのなかで、愛する家族を案じつつも遙か異国の地で、祖国のために殉じられた幾多の方々の心情に思いを馳せるとき、今もなお、尽きることのない悲しみが胸に込み上げて参ります。

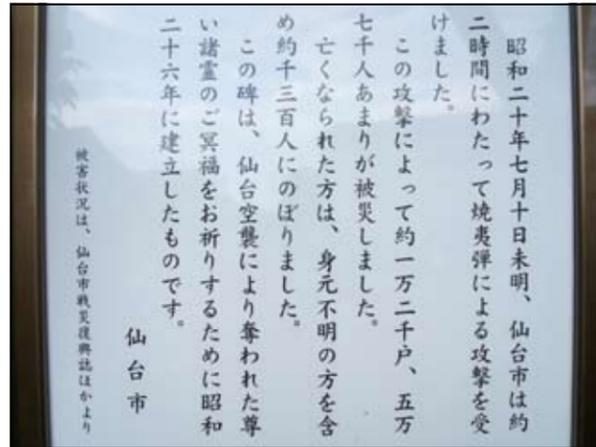
空襲によって一夜にして焦土と化した仙台の街は、郷土の再建復興に精魂を傾けられた方々のご努力によって、今では緑豊かな杜の都として見事に立ち直り、東北中枢都市として発展を続けるまでになりました。しかし、今日、私達が享受している平和と繁栄は戦争や戦災によって尊い命を失われた方々の犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはなりません。

ここに謹んで戦没者並びに戦災死者の方々の在りし日をお偲び申し上げ、御霊の安らかならんことをお祈りいたすとともに、未来永劫悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、戦災を通じて学びとった教訓を次の世代に伝え、世界の恒久平和を築くために努力して参りたいと強く決意するものであります。

本日の式典に際し、ご遺族の皆様並びにご臨席を賜りましたご来賓の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、ご健勝をご祈念いたしまして挨拶いたします。

平成22年7月10日
仙台市長 奥山 恵美子

戦災死没精霊供養碑



基本情報

所 在：仙台市北山霊園
 住 所：宮城県仙台市青葉区北山2-10-1
 (JR北山駅 徒歩5分)
 連 絡 先：仙台市健康福祉局健康福祉部社会課 022-261-1111 (代表)
 建 立 者：仙台市
 建 立 年：昭和26年9月24日

碑 文

戦災死没精霊供養碑
 昭和二十年七月十日殉難

説 明 文

昭和二十年七月十日未明、仙台市は約二時間にわたって焼夷弾による攻撃を受けました。

この攻撃によって約一万二千戸、五万七千人あまりが被災しました。

亡くなられた方は、身元不明を含め約千三百人にのぼりました。

この碑は、仙台空襲により奪われた尊い諸霊のご冥福をお祈りするために昭和二十六年に建立したものです。

仙台市

被害状況は、仙台市戦災復興誌ほかより

奈津子・十一才の夏



基本情報

所 在：仙台市戦災復興記念館
 住 所：宮城県仙台市青葉区大町2-12-1
 （市営地下鉄 広瀬通駅 徒歩10分）
 連 絡 先：仙台市戦災復興記念館 022-263-6931
 建 立 者：戦後五十年を記念し「奈津子の像」を贈る会
 建 立 年：平成7年8月15日

碑 文

【表】

奈津子 十一才の夏

【側面】

「奈津子・十一才の夏」の像について
 昭和二十年七月十日、仙台空襲により多くの市民の尊い
 生命が奪われた。
 「奈津子（当時十一歳）」は、その犠牲者の一人である。
 ここに生命と平和の尊さを祈念しつつ、一少女像を建てる。

平成七年八月十五日 仙台市

「戦後五十年を記念し「奈津子の像」を贈る会」より寄贈



学徒動員戦没者慰霊碑



基本情報

所 在：如法寺
 住 所：福島県郡山市堂前町4-24
 (JR郡山駅 徒歩15分)
 連 絡 先：如法寺 024-922-0607
 建 立 者：学徒動員一同
 建 立 年：平成13年4月12日

碑 文

【表】

学徒動員戦没者慰霊碑

【裏】

平成十三年四月十二日 学徒動員一同建之

【側面】

大東亜戦争中昭和二十年四月十二日、
 保土谷化学郡山工場における米軍の空爆による戦没者

安積高等女学校	犠牲者名
白河高等女学校	犠牲者名

積中学校	犠牲者名
郡山商業学校	犠牲者名
米沢高等工業専門学校	犠牲者名
桃見台国民学校高等科	犠牲者名

関 東

日立空襲艦砲射撃慰霊碑「陶輪碑」



基本情報

所 在：成沢霊園
 住 所：茨城県日立市西成沢町2-11 宝塔寺付近
 (JR日立駅より 車15分)
 連 絡 先：都合により記載せず
 建 立 者：株式会社 日立製作所
 建 立 年：昭和32年

碑 文

【表】

陶輪碑

【裏】

記

昭和二十年此地空爆ト艦砲射撃ニヨリ被害夥シ、日立多賀水戸等ニ於テ其職ニ殉ゼシモノ併セテ七五一名也、今復興漸ク成ルニ方 其名ヲ録シ至誠ヲ明ニシテ気概ノ永ヘニ傳業セラレン事ヲ希フ、銘曰

身帰四大 心長留茲

継業後人 護志不渝

空盡 馬場条夫

昭和丁酉春一九五七年



基本情報

所 在：成沢霊園
住 所：茨城県日立市西成沢町2-11 宝塔寺付近
(JR日立駅より 車15分)
連 絡 先：都合により記載せず
建 立 者：株式会社 日立製作所
建 立 年：昭和52年6月10日

碑 文

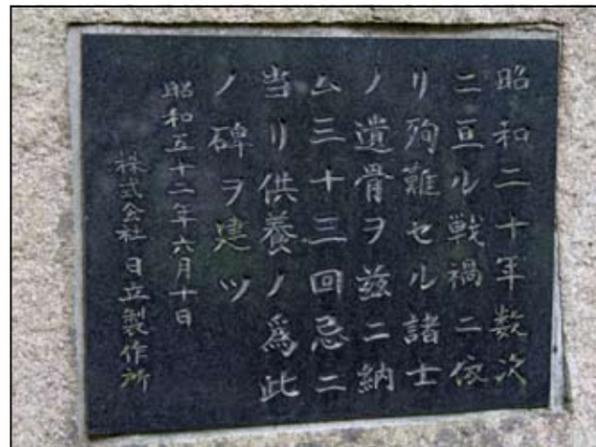
【表】

諸精霊之碑

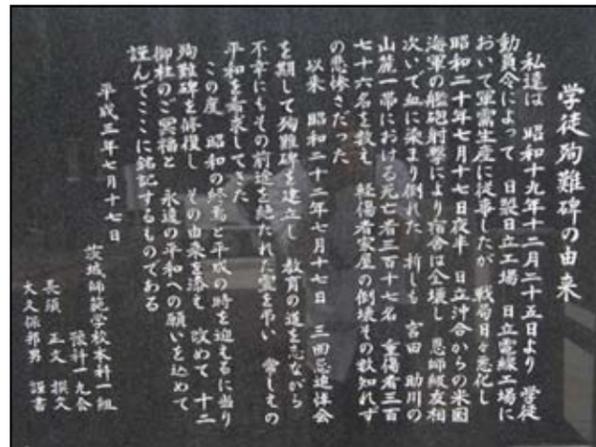
【裏】

昭和二十年数次ニ亘ル戦禍ニ依
リ殉難セル諸士ノ遺骨ヲ茲ニ納
ム三十三回忌ニ当リ供養ノ為此
ノ碑ヲ建ツ

昭和五十二年六月十日
株式会社 日立製作所



茨城師範学校学徒殉難碑



基本情報

所 在：助川台アパート跡
 住 所：茨城県日立市助川町5-14
 (JR日立駅より日立電鉄バス バス停「小平会館入り口」下車 徒歩10分)
 連 絡 先：都合により記載せず
 建 立 者：茨城師範学校本科一組、予科十九会
 建 立 年：平成3年7月17日

碑 文

嗚呼勤労学徒殉難碑

説 明 文

学徒殉難碑の由来

私達は 昭和十九年十二月二十五日より 学徒動員令によって 日製日立工場 日立電線工場において軍需生産に従事したが 戦局日々悪化し 昭和二十年七月十七日夜半 日立沖合からの米国海軍の艦砲射撃により宿舎は全壊し 恩師級友相次いで血に染まり倒れた 折しも 宮田 助川の山麓一帯における死亡者三百十七名 重傷者三百七十六名を数え 軽傷者家屋の倒壊その数知れずの悲惨さだった

以来 昭和二十二年七月十七日 三回忌追悼会を期して殉難碑を建立し 教育の道を志ながら 不幸にもその前途を絶たれた霊を弔い 常しえの平和を希求してきた

この度 昭和の終焉と平成の時を迎えるに当り殉難碑を修復し その由来を添え 改めて 十二御柱のご冥福と 永遠の平和への願いを込めて 謹んでここに銘記するものである

平成三年七月十七日
 茨城師範学校本科一組
 豫科一九会
 長須 正文 撰文
 大久保邦夫 謹書

平和の像「碧翔」と記念碑



基本情報

所 在： 駅南平和公園
 住 所： 茨城県水戸市城南2-13
 (JR水戸駅 徒歩10分)
 連絡先： 水戸市 総務部 総務法制課 029-224-1111 (代表)
 建立者： 水戸・平和の像を建てる会
 建立年： 平成3年8月1日

碑文

平和の像について

水戸市は 日本国憲法に掲げられた恒久平和主義の理念に基づき 唯一の被爆国として二度と戦争の悲劇を繰り返さない願いを込め 昭和60年7月「核兵器廃絶平和都市」を宣言いたしました この宣言のもと 私たちは市制施行100周年に当たる平成元年を機に 改めて永遠に戦争のない平和な世界の実現に向けて努力することを誓い その心の表象を市民の抛金と水戸市との共同事業により 平和の像として建立することいたしました

幸いにも 私たちの願いは賛同の輪となって幾重にもひろがり ここに念願の平和の像の設置をみるに至りました

像は 平和を希求する市民の心と未来に向かって飛躍する水戸市を表現したもので空を飛び 陸を駆け 海に潜ることができる万能の力を有する不死鳥(フェニックス)に生命の源である乙女が座し 平安の彼方 宇宙に向かって飛翔する姿を表しています

平成3年8月1日

水戸・平和の像を建てる会

水戸戦災犠牲者慰霊祭



開催概要 (平成22年度)

歳 時 名： 水戸戦災犠牲者慰霊祭
 会 場： 駅南平和公園
 (JR水戸駅 徒歩10分)
 日 時： 平成22年8月1日(日) ※例年8月11日開催(本年度にて開催終了)
 参列者数： 約60人
 連絡先： 個人であり記載せず

式次第 (平成22年度)

1. 開式のことば
2. 献 花
3. 献 歌…独唱「アメージング・グレイス」
4. 黙 祷
5. 挨拶…水戸市戦災犠牲者遺族会 会長
6. 挨拶…元水戸平和記念館を創る会 会長
7. 来賓挨拶…水戸市長、水戸市議会議長、県議会議員
8. 平和の歌…斉唱「何が見えますか」
9. 閉式のことば
10. 写真撮影

式 辞 (平成22年度)

「第30回水戸戦災犠牲者慰霊祭」に当たりまして、戦災の犠牲者となられました方々の御冥福を心からお祈り申し上げます。

私たちの水戸市は、一夜にして市街地の大半を焦土と化し、多くの市民の尊い命と貴重な財産を失った、昭和20年8月2日未明の空襲から、今年で65年の年月が過ぎようとしています。

戦後の日本は、水戸市をはじめとし、一面の焼け野原からスタートをしたわけですが、人々のたゆまぬ努力により、力強く復興を果たしました。そして、自由と平等の社会を築き上げるとともに、経済的にも豊かな国になりました。

しかしながら、長い年月の経過により、水戸市においても戦後生まれの市民が78パーセントを超えるなど、戦争を知らない世代が増加する中、平和に対する意識の低下が懸念されているところであります。

こうした社会情勢にあつて、水戸戦災犠牲者遺族会、水戸平和記念館を創る会の皆様方が、水戸空襲の悲劇と平和への尊さを後世に伝えるため、長年に渡り活動されておりますことは誠に意義深いものであり、心から敬意を表する次第でございます。

このたびの水戸戦災犠牲者慰霊祭は、30回という節目を迎えるとともに、最後の慰霊祭になるということで、誠に残念ではございますが、これまでの関係者の皆様方の御芳苦に對しまして心から感謝を申し上げます。

本市といたしましても、昨年银杏坂に開館しました水戸市平和記念館を拠点として、今後多くの市民の皆様と平和の尊さについて共に考えていくとともに、これまで以上に平和な社会の実現に向けて、尽力して参ることをお誓いいたしまして、ごあいさついたします。

水戸市長 加藤 浩一

前橋空襲追悼碑



基本情報

所 在：比刀根橋 北側（旧「比刀根橋防空壕」跡地）
 住 所：群馬県前橋市住吉町2-1-1
 （JR前橋駅 徒歩25分）
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：前橋市戦災被爆者遺族会
 建立年：昭和51年4月5日

碑 文

昭和二十年八月五日前橋空襲の犠牲となり
 死歿せる一般民間市民の群霊五百三十五名に
 及ぶ当時最も爆撃激しく犠牲者多き比刀根橋
 防空壕跡地に記念碑を建立不生不滅の実想の
 中永遠の平和を祈念し遺族有志永年の悲願を
 実成す

昭和五十一年四月五日
 前橋市戦災被爆者遺族会

前橋空襲戦災犠牲者慰霊式典



開催概要（平成22年度）

歳 時 名：前橋空襲戦災犠牲者慰霊式典
 会 場：比刀根橋 西側（旧「比刀根橋防空壕」跡地）
 （JR前橋駅 徒歩25分）
 日 時：平成22年8月5日（木） ※毎年8月5日開催
 参列者数：50人
 連絡先：個人であり記載せず

式次第（平成22年度）

1. 生涯学習奨励員 開会の宣言
2. 自治会長 あいさつ
3. 町民による前橋空襲体験談（本年度は開会宣言で発表）
4. 追悼文朗読 子供育成会児童 群馬大学附属小学校六年
5. 千羽鶴献納及び献花

式 辞（平成22年度）

自治会長あいさつ

本日はお暑い中、「前橋空襲犠牲者追悼」式に大勢の皆様のご参加を頂き、まことにありがとうございます。

皆様もご存じのとおり今から65年前の8月5日、前橋はB-29爆撃機92機による爆撃を受け、535人も尊い命が失われました。

特に我が町内を中心とした地域は、集中的な爆撃による死者も多く、私共の町内においても多くの方が亡くなられております。ここに喪心より哀悼の誠を捧げます。

なぜ人々は争うのか、殺し合うのか、そして平和、この言葉は過去何千回も何万回も繰り返し語られてきました。何と空しいことか、またここで同じ言葉を繰り返さなければなりません。いや私共の生ある限り繰り返さなければならない、これが現実、これが与えられた使命なのではないでしょうか。

いま我が国は様々な課題に直面しております。平和という言葉の定義も人様々ですが、平和のための手段はないのでしょうか。侵略されないための準備の拡大など、戦うための手段ばかりが議論されている気がしております。

二度と戦争など繰り返してはならない。このことは三百万人を超える若い犠牲の上にたった貴重な教訓なのです。それは人間の尊厳、命の尊さにほかなりません。

今こそ私たちは歴史から学び、過去を検証しそして未来を目指すべきではないでしょうか。

平和への願い、それは人と人を結ぶ絆、まず日常的な私共の暮らしの中で近隣の人々との絆を大切にすること。それは単なる言葉ではなく人を思いやる行為なのです。いま私たちからの平和へのメッセージとして、ここにご挨拶いたします。

慰霊塔



基本情報

所 在：平和公園
 住 所：群馬県伊勢崎市八坂町
 （東武鉄道 新伊勢崎駅 徒歩10分）
 連 絡 先：伊勢崎市 都市計画部 公園緑地課 0270-24-5111（代表）
 建 立 者：伊勢崎佐波連合郷友会
 建 立 年：昭和36年10月5日

※一般戦災死没者を含む

碑 文

なし



太田市戦没者等追悼式



開催概要（平成22年度）

歳時名：太田市戦没者等追悼式 ※一般戦災死没者を含む

会場：太田市新田文化会館 エアリスホール

（東武鉄道 木崎駅より 車7分）

日時：平成22年10月2日（土） ※例年10月第1土曜日開催

参列者数：約700人

連絡先：太田市福祉こども部 社会支援課 0276-47-1111（代表）

式次第（平成22年度）

1. 開 式
2. 拝 礼
3. 国 歌 斉 唱
4. 黙 と う
5. 詩 の 朗 読 …「私の半生」朗読劇『風』
6. 式 辞 … 太田市長
7. 追 悼 の 辞 … 太田市議会議長、太田市遺族会会長、群馬県知事
8. 献 花
9. 合 唱 … おおた芸術学校附属合唱団 『コールエンジェル』
10. 閉 式

式 辞（平成22年度）

本日ここに、戦没者並びに戦災被爆者のご遺族及び多数のご来賓、そして多くの市民の皆様のご参列をいただき、太田市戦没者等追悼式を挙げるにあたり、太田市を代表し式辞を申し上げます。

先の大戦の終結から六十五年という長い年月が過ぎ去りました。苛烈を極めた戦いの中で、多くの方々が危地に赴き、再び郷里に戻る事なく、祖国の安泰と繁栄を思い、家族を案じつつ散華いたしました。また、銃後のこの地においても、多くの方が国土防衛に身を捧げ、空爆のため犠牲となられました。さらに、遠くシベリアの地において、抑留生活を余儀なくされ、異国で亡くなられた方もおられました。

私たちが現在享受している平和と繁栄は、戦没者の方々の尊い犠牲の上に築かれたものであり、また、ご遺族皆様方のたゆみない努力の賜物であります。

私たちは、二度と同じ過ちを繰り返さぬよう、過去を謙虚に振り返り、悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、次の世代に継承していかなければなりません。

今後も市民の叡智と活力を結集して、潤いと安らぎのある郷土の実現のため、全力を尽くしていくことを改めてお誓い申し上げます。

終わりに、戦没者並びに戦災被爆者のご遺族の皆様、今なお変わることのない深い苦しみ、悲しみに思いを致すとともに、ご遺族並びにご参列の皆様のお祈りを心からお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成二十二年十月二日

太田市長 清水 聖義

太田市戦災被爆者慰霊記念の碑



基本情報

所 在：太田中央公園（旧太田市民会館前）
 住 所：群馬県太田市飯田町818
 （東武鉄道 太田駅 徒歩5分）
 連 絡 先：太田市 都市政策部 花と緑の推進課 0276-47-1111（代表）
 建 立 者：太田市戦災被爆者遺家族の会、慰霊記念の碑建設委員会
 建 立 年：昭和52年8月10日

碑 文

【表】

太田市戦災被爆者慰霊記念の碑
 太田市長 戸澤久夫書

安らかに
 この国の永遠の
 平和を祈念して

建設大臣
 長谷川四郎書

【裏】

趣意書

わが太田市は、太平洋戦争の末期、昭和二十年二月十日、二月十六日、二月二十五日、四月四日、七月二十八日、八月十四日と数度にわたって、はげしい空襲に見舞われ その度毎に数多くの死傷者が続出したが、現在の太田市在住の遺家族数は、五十五家族、その被爆犠牲者壱百弍名に及んでいる。

ところで、戦後における国の援護の実状は、民間の被爆犠牲者には、その処遇も行われないまま、すでに三十有余年の年月を経てきたのである。そのため、本市鳥山に存在する大越福は、昭和四十五年十二月、太田市戦災被爆者遺家族の会を結成し、その会長となって 私財を投じて国会等に対し、強力な陳情活動を続けたのである

時あたかも今年昭和五十二年は、被爆犠牲者の三十三回忌にあたり、市当局並びに市民各層の協力のもと 太田市戦災被爆者慰霊祈念の碑の建設となったのである。

このことは、この国の永遠の平和をこいねがう被爆遺家族のせめてものねがいであり、こゝに記してその由来とする所以である。

昭和五十二年八月十日
 広田良撰文

宇都宮空襲戦災殉難者追悼法要



開催概要 (平成22年度)

歳時名：宇都宮空襲戦災殉難者追悼法要

会場：祥雲寺

(JR宇都宮駅より関東バス バス停「県庁前」下車 徒歩10分)

日時：平成22年7月12日(月) ※例年7月12日開催

参加者数：約50名

連絡先：宇都宮仏教会 028-622-5719

式次第 (平成22年度)

1. 行事鐘
2. 式衆入道
3. 開会の辞
4. 献灯・献花
5. 三帰依文
6. 三奉請
7. 導師表白
8. 読経
9. 回向
10. 普回向
11. 追悼の辞 … 宇都宮市社会福祉協議会会長、宇都宮市遺族会連合会会長
12. 主催者挨拶
13. 焼香
14. 閉式の辞
15. 式衆退堂

宇都宮空襲犠牲者追悼「ふくべ灯籠流し」



※写真提供 宇都宮市平和記念館を作る会

開催概要 (平成22年度)

歳時名：宇都宮空襲犠牲者追悼「ふくべ灯籠流し」
 会場：田川（幸橋～宮の橋）
 （JR宇都宮駅 徒歩2分）
 日時：平成22年7月17日（土） ※例年7月12日開催予定
 参列者数：約1000人
 連絡先：都合により記載せず

式次第 (平成22年度)

1. 紙芝居…「火の海になったうつのみや」上演 千波児童公園にて
2. 開会
 セレモニー
3. 黙祷
4. ふくべ灯籠流し開始
5. ふくべ灯籠流し終了

経緯

7月12日は何の日？

宇都宮市民として忘れてはいけない日です。65年前の昭和20年（1945）のこの日宇都宮が米軍の空襲を受けたのです。この空襲により、市街地の大半が焼野原と化し、620名以上の尊い命が奪われました。この惨禍を決して忘れることのないよう、今年も犠牲者追悼の「ふくべ灯籠流し」を田川で行います。

宇都宮市慰霊塔



基本情報

所 在：北山霊園
 住 所：栃木県宇都宮市岩本町483
 (JR宇都宮駅より関東バス バス停「北山霊園前」下車 徒歩10分)
 連 絡 先：宇都宮市 市民生活部 生活安心課 028-632-2222 (代表)
 建 立 者：宇都宮市慰霊塔建設委員会
 建 立 年：昭和45年9月20日

碑 文

昭和四十五年九月
 宇都宮市慰霊塔建設委員会
 委員長
 宇都宮市長 小池嘉子

説 明 文

明治以来国運は時に隆替したが遂に今日の繁栄を見たのは先人達が義勇奉公國難に處した賜である
 茲に郷土出身の戦歿者戦争引揚死者戦災死者並に公務殉職者の勲を讃えて感謝の誠を捧げ世界の平和と祖國の發展を祈念しこの聖地に慰霊の塔を建てその冥福を祈る

大谷平和観音



基本情報

所 在：大谷公園
 住 所：栃木県宇都宮市大谷町1198
 (JR宇都宮駅より関東バス バス停「大谷寺前」下車 徒歩2分)
 連 絡 先：宇都宮観光コンベンション協会 028-632-2445
 建 立 者：大谷観光協会
 建 立 年：昭和31年5月4日

※一般戦災死没者を含む

説明文

平和観音

大谷寺の南側に高くそびえる平和観音は、身丈26.93メートル(88尺8寸8分)の高さで、第二次世界大戦による戦没者の霊を弔い、世界平和を祈念するために、大谷観音の御前立として彫刻されたものです。

戦後間もない昭和23年9月より、当時の大谷観光協会と地元の人々の熱心な後援のもとに、大谷石の採石場であった壁面を利用し、南側の岩肌に観音像を刻みました。東京芸術大学教授・飛田朝次郎が彫刻を手がけ、その指導のもと、大谷町の石工・上野波造氏らが制作にあたりました。6年の歳月を費やした結果、昭和29年12月に完成しました。昭和31年には、日光輪王寺門跡菅原大僧正により開眼供養が行われ、それ以降大谷の顔としてそびえ立っています。

経緯

大谷平和観音

一個人の鎮魂の念から生み出されたのが大谷平和観音である。戦時中、大谷の地下工場に動員された群馬県出身の上野浪造氏は、戦後も大谷に居住して仏像彫刻を決意したといわれている。戦時中に亡くした2人の弟を含め、多くの戦争犠牲者に対する供養のためである。

昭和23(1948)年の起工式後、大谷観光協会や東京芸術大学飛田教授の協力の下、昭和29(1954)年についに完成し、昭和31(1956)年、日光山輪王寺から僧侶を招き開眼式が行われた。個人の鎮魂の念が地域を揺り動かし、やがて平和の灯火をともした典型的な例である。

枝病院門柱戦災記念碑



基本情報

所 在：宇都宮市総合福祉センター 斜め向かい側
 住 所：栃木県宇都宮市中央1-1-15
 （東武鉄道 東武宇都宮駅 徒歩5分）
 連 絡 先：都合により記載せず
 建 立 者：宇都宮平和祈念館をつくる会
 建 立 年：平成12年4月1日

説明文

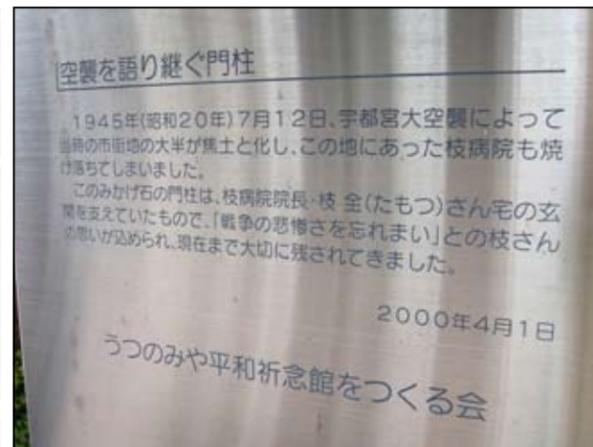
空襲を語り継ぐ門柱

1945年（昭和20年）7月12日、宇都宮大空襲によって当時の市街地の大半が焦土と化し、この地にあった枝病院も焼け落ちてしまいました。

このみかげ石の門柱は、枝病院院長・枝全（たもつ）さん宅の玄関を支えていたもので「戦争の悲惨さを忘れまい」との枝さんの思いが込められ、現在まで大切に残されてきました。

2000年4月1日

うつのみや平和祈念館をつくる会



熊谷市戦没者戦災死没者追悼式



※写真提供 熊谷市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：熊谷市戦没者戦災死没者追悼式
 会場：埼玉県熊谷会館
 (JR熊谷駅 徒歩15分)
 日時：平成22年10月13日(水) ※例年10月頃開催
 参列者数：496人
 連絡先：熊谷市福祉部福祉課 048-524-1395

式次第 (平成22年度)

1. 開会のことば…熊谷市副市長
2. 拝礼
3. 国歌斉唱
4. 黙とう
5. 追悼のことば…熊谷市長、熊谷市議会議長、埼玉県知事、埼玉県遺族連合会会長、熊谷市遺族連合会代表
6. 献花…熊谷市長、来賓、遺族代表
7. 閉式のことば…熊谷市教育長

式辞 (平成22年度)

本日ここに、多数のご遺族並びにご来賓の皆様をお迎えして、熊谷市戦没者・戦災死没者追悼式を挙げるにあたり、先の大戦で亡くなられたすべての御霊に対し、謹んで追悼の誠を捧げます。

先の大戦において、多くの方々が国の内外において亡くなられたことは、私たちにとって永遠に忘れることのできない深い悲しみであります。ひたすら祖国の発展と家族の安泰を願いつつ、散華された方々の御霊に思いをいたす時、今なお痛惜の念が胸に迫ります。

また、最愛の肉親を失われたご遺族の皆様におかれましては、悲しみの中、幾多の困難を乗り越え、社会の発展のために御尽力くださった事に、心から敬意を表する次第であります。

戦後、国民は焦土と化した国土の中から立ち上がり、今日のような平和で豊かな国家を築き上げてまいりました。本市が享受している平和と繁栄は、戦没者、戦災死没者の方々の尊い犠牲とご遺族皆様方から寄せられました、ご支援、ご協力の賜物であります。

本市も、先輩各位、市民皆様の並々ならぬご尽力によって復興がなされ、県北の中核都市として、政治、経済、教育、文化等あらゆる分野において大きく発展してまいりました。

私たちは、戦没された方々の祖国発展の熱い思いを受け継ぎ、郷土熊谷を、「市民が誇りをもてるまち」「市民の笑顔があふれるまち」にするため、全力で市政に取り組んでまいります。今後も皆様には、一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

ここに、六十五年が経過した今でも決して消えることのない痛みと戦争の惨禍を後世に語り継ぎ、恒久平和の実現を積極的に進めることを、そして、住民福祉の向上に努め、心豊かに暮らせる郷土作りに邁進することを、戦没者、戦災死没者の御霊の前でお誓いいたします。

結びに、戦没者、戦災死没者各位の御霊が、永遠に安らかでありますことを、また、郷土熊谷の繁栄と平安を見守りくださることを願い、併せてご遺族をはじめ、ご参列の皆様方のご健勝と、ご多幸を祈念申し上げ、追悼のことばといたします。

平成二十二年十月十三日
 熊谷市長 富岡 清

戦没者供養 とうろう流し



開催概要 (平成22年度)

歳時名：戦没者供養 とうろう流し ※一般戦災死没者を含む
 会場：星川いこいの広場
 (JR熊谷駅 徒歩10分)

日時：平成22年8月16日(月) ※例年8月16日開催

参加者数：多数

連絡先：熊谷市観光協会(熊谷市商業観光課内) 048-524-1111 (代表)

式辞 (平成22年度)

本日、ここにとうろう流しを、とり行なうにあたり、主催者といたしまして一言ごあいさつを申し上げます。

昭和二十年八月十四日の夜、多くの尊い人命を奪い、私達の郷土を一夜にして焦土と化したあの悪夢のような惨事から、六〇年余りの歳月が経過いたしました。

今、悲惨であったあの焦熱地獄を想像するに誠に痛恨の情に耐えず、犠牲となられた方々の、無念のご心情はいかばかりかと、断腸の思いがいたします。

本市は、この八月十四日夜の「最後の空襲」によって、市街地の大半を焼失しました。しかし、その後、戦災復興土地区画整理事業により、この星川周辺は、立派な街並みを取りもどし、本市の顔として、重要な役割を果たしているところであります。

これらのことは、ひとえに、今はなき御霊の尊い犠牲と、ご加護のうえに築かれたものであり、深く哀悼の意を表しますとともに、御霊のご加護に深く感謝し、又、ひたすら復興に努力されました市民皆様方に対しまして、心から敬意を表する次第であります。

さて、私たち熊谷市民は、県内唯一の戦災指定都市の住民として、戦争の惨禍を二度と繰り返すことのない社会と人類の恒久平和を一日も早く実現するために、世界平和を願うすべての国の人々と手を携えることを誓い、本市を「非核平和都市」とすることを宣言しておりますが、ここに改めて、あの悪夢のような悲惨な出来事が、二度と繰り返されることのないよう更なる決意をいたしましたところでございます。

結びにあたりまして、心をこめてとうろうを流し、犠牲となられました御霊に対し、心からご冥福をお祈りくださいますようお願い申し上げます。

平成二十二年八月十六日
 熊谷市長 富岡 清

戦災者慰霊之女神



基本情報

所 在：星川いこいの広場
 住 所：埼玉県熊谷市星川1
 (JR熊谷駅 徒歩10分)
 連 絡 先：熊谷市 産業振興部 商業観光課 048-524-1111 (代表)
 建 立 者：慰霊碑建立奉賛会
 建 立 年：昭和50年8月16日

碑 文

慰霊碑 建立について

熊谷市は昭和二十年（一九四五年）太平洋戦争終戦前夜の八月十四日空襲をうけ 一夜にして当時の市の三分の二が焼土と化し二百六十余名の方が悲惨な最後を遂げました。特に市の中央部を流れる星川には一齊にあがった火の手に逃げ場を失った人人が飛び込み焼け崩れた家の下敷となり百人近い方が焼死しました。けれどもあの痛ましい戦災の記憶や思い出は年と共にうすれ忘れられてまいります。

よって被災三十周年を迎えるに當り由緒ある星川上に碑を建立して永く慰霊と平和を祈る灯といたします。

昭和五十年八月十六日
 慰霊碑建立奉賛會

平和地蔵



基本情報

所 在：上熊谷駅西側を通る国道407号線陸橋北側道付近
 住 所：埼玉県熊谷市本石2-200付近
 (JR上熊谷駅 徒歩5分)
 連 絡 先：不明
 建 立 者：熊谷市有志一同
 建 立 年：昭和32年1月

碑 文

熊谷厄除子育
 地蔵尊

碑 文

舌 代

顧るに昭和二十年八月十四日夜半より翌15日に亘り、吾が熊谷全市は火の海と化し、言語に絶する混乱状態となりたり。折しも星川の流に身を投じて避難せる人々は、両側に並ぶ家屋の焼落ちる火と火との間にて、哀れにも狂い死をなしたる者多大なり。又無残や大火傷を受け、薬石効無く遂に尊い一命を失った者驚く勿れ全市に於て其の数実に二百有余命なり。そのお気の毒な方々の最後を思いやり、情厚き全市有志の皆名様と共にここに平和地蔵尊並火伏地蔵と唱えて建立せしものなり、斯くのごとき死亡者の中には身寄り頼り無く不幸此の上も無き靈魂の為に何卒一片の香花を手向け下さる様御願ひ申し上げます。

昭和三十三年一月 熊谷市有志一同
 堂守 杵屋二十五代目 新井龍吉

千葉市戦没者追悼式



開催概要 (平成22年度)

歳時名：千葉市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：千葉市民会館
 (JR千葉駅 徒歩10分)

日時：平成22年10月14日(木) ※例年10月中旬頃開催

参列者数：386人

連絡先：千葉市保健福祉局 地域福祉課 043-245-5111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式のことば… 千葉市保健福祉局長
2. 国歌斉唱
3. 拝礼
4. 黙とう
5. 式辞… 千葉市長
6. 追悼のことば… 千葉県遺族会会長、千葉市遺族会会長、千葉市戦災遺族会会長
7. 思い出のことば… 遺族代表
8. 献花… 市長・来賓・遺族代表
9. 献詠… 千葉市役所吟詠会
10. お礼のことば… 遺族代表
11. 開式のことば… 千葉市保健福祉局次長

式辞 (平成22年度)

本日ここに、ご遺族並びにご来賓多数のご臨席を賜り、千葉市戦没者追悼式を挙げるにあたり、式辞を申し述べます。

先の大戦では、祖国を思い、家族を案じつつ、戦場に散った戦没者の方々、度重なる空襲による戦禍の犠牲となられた戦災死没者の方々など、多くの尊い命が失われました。あらためて、心より哀悼の意を表します。

さて、戦後六十五年、わが国は、平和を国是として、国民一人ひとりのたゆみない努力により、めざましい成長を遂げてまいりました。この千葉市においても、戦後の復興を経て、今や、人口九十六万人を擁する政令指定都市として、着実に発展を続けております。しかしながら今日の平和と繁栄は、戦争によってかけがえのない命を落とされた方々の尊い犠牲と、深い悲しみの中で幾多の困難を克服してこられたご遺族の皆様方のご労苦の宇恵に築かれていることを、決して忘れてはなりません。

この平和で豊かな生活を守るためにも、私たちは、戦争の悲惨さと、戦争によって尊い犠牲があったことを忘れることなく、次の世代に語り継いでいく必要があります。また、世界に目を転じると、今なお、各地で多くの人々がテロリズムや戦火にさいなまれている現実があります。私たちは、世界の恒久平和の実現をめざし、平和市長会議を通じた都市間の連携強化はもとより、平和の尊さを世界に伝えるなど小さくても具体的な行動と役割を果たしていく必要があります。

ここに、戦没者・戦災死没者の方々の祖国発展への思いを深く心に刻み、郷土千葉市の繁栄と、平和で安心して心豊かに生活できる社会を築くために全力を尽くすことを、固くお誓い申し上げます。

おわりに、戦争の犠牲となられた方々の御霊がとこしえに安らかに鎮まりますことをお祈りいたしますとともに、ご遺族の皆様方のご健勝とご多幸を衷心より祈念申し上げます、式辞といたします。

平成二十二年十月十四日
 千葉市長 熊谷 俊人

戦災復興記念碑



基本情報

所 在：千葉市中央公園
 住 所：千葉県千葉市中央区中央1-12
 (JR千葉駅 徒歩10分)
 連 絡 先：千葉市 中央・稲毛公園緑地事務所 043-251-5103
 建 立 者：千葉県
 建 立 年：昭和55年2月

碑 文

戦災復興記念碑
 千葉県知事 川上紀一

千葉市は、太平洋戦争、お終りに近い昭和20年6月及び7月の2度にわたる空襲に見舞われ、市街地に中心部約230ヘクタールが焦土と化した。その被害は建物8904戸、死傷者1600人を数え、誠に悲惨な状況であった。

同年8月15日、終戦となるや、政府は全国120余の戦災都市を対象に「戦災地復興計画基本方針」を定め、平和な文化都市の建設をめざした。

これを基き千葉県は、千葉市と協力して土地区画整理事業による千葉市戦災復興計画を樹立した。その計画の柱は、防災を重視した市街地形成と国鉄千葉駅、本千葉駅及び京成千葉駅の移転を骨子とした交通網の整備であった。

一方、市民も戦後の生活困窮にもめげず、郷土復興の意欲に燃えて立ち上がり、一致協力して文化都市づくりに邁進した。

以来、今日まで約160ヘクタールの区域にわたりこの事業を進め4274戸に及ぶ建物を5箇所の墓地の移転を行い、道路、公園等の公共施設の整備を実施した。そして、昭和54年10月、多難を極めた復興事業をここに完成した。これひとえに市民及び関係機関の御協力の賜物と深く感謝の意を表するとともに、千葉市の平和と発展を願い復興事業の成果を永く後世に伝えるため、地区の中央であるこの地に記念碑を建立する。

昭和55年2月

蘇我町戦災死者之墓



基本情報

所 在：福正寺
 住 所：千葉県千葉市中央区今井1-13-24
 (JR蘇我駅 徒歩5分)
 連 絡 先：福正寺 043-261-0615
 建 立 者：蘇我町戦災遺族有志
 建 立 年：昭和60年10月

碑 文

蘇我町戦災死者之墓

昭和二十年六月十日没

説 明 文

墓石之由来

日立航空機千葉工場爆撃ノ目標ガ僅カナル
 誤差ニヨリ昭和二十年六月十日午前七時五十四分B二十九ノ爆撃ニヨリ百五十二名爆死者
 アリ内蘇我町一丁目在住者百二十九名ナリ内
 百二十四名ハ桜木町ノ市営墓地ノ野天ニ於テ
 合同火葬セリ各遺族ハ湯呑大ニ入リシ遺骨ヲ
 受ケ残ル遺骨ハ此ノ墓石下内ニ合同埋骨セリ

爆撃に逝きたる人や碑と成りて

永久にねむりて平和の守り 松籟

昭和六十年十月吉日 蘇我町戦災遺族有志

柏市戦没者追悼式



※写真提供 柏市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：柏市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む

会場：アミュゼ柏 クリスタルホール

(JR柏駅 徒歩7分)

日時：平成22年10月28日(木) ※例年10月下旬開催

参列者数：144人

連絡先：柏市 保健福祉部 保健福祉総務課 04-7167-1111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式のことば… 柏市水道事業管理者
2. 拝 礼
3. 国歌斉唱
4. 黙 と う
5. 式 辞… 柏市長
6. 追 悼 の 辞… 千葉県知事、柏市議会議員、国会議員、千葉県議会議員、千葉県遺族会、遺族代表
7. 献 花… 柏市長、来賓、遺族代表
8. 献 詠… 日本吟道学院城学詩吟の会
9. 閉会のことば… 柏市水道事業管理者

式 辞 (平成22年度)

本日ここに、「平成22年度柏市戦没者追悼式」を挙げるにあたり、御遺族並びに多くの御来賓の皆様の御参列をいただき、心からお礼申し上げます。

先の大戦が終わりを告げてから、65年を超える長い年月が過ぎ去りました。祖国の平和と発展、そして何よりも家族の安泰を念じながら、戦禍に倒れた方々の御霊に思いをしますとき、悲痛の思いが尽きることなく込上げてまいります。

今日の我が国の平和と繁栄は、これら戦争でお亡くなりになった方々の尊い犠牲の上に築かれておりますことを決して忘れず、深く感謝と敬意を表するとともに、謹んで哀悼の誠を捧げます。

併せて、最愛の肉親を突如失われた御遺族の皆様の御心情を拝察すると、お慰めの言葉も見当たりませんが、深い悲しみを胸に長年苦難の道を歩みながらも、社会の一員として御尽力くださったことに、心から敬意を表します。

世界に目を転じますと、テロや地域紛争が後を断たず、今もなお、多くの人々が傷つき、苦しんでおり、世界平和への道のりはいまだ遠いことを痛感せざるを得ません。

また、我が国においては、戦後に生まれた世代が大半を占める今、戦争体験の風化が危惧されております。

柏市は、昭和60年に非核三原則の堅持並びに核兵器廃絶と軍備縮小を訴える「平和都市宣言」をいたしました。今後、二度と戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、平和への誓いを新たにいたすとともに、誰もが安心・安全に生きられる柏市の創造に向け、一層努力してまいりますことを、ここにお誓い申し上げます。

終わりに、戦争の犠牲となられたすべての方々の御冥福と御遺族の皆様の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成22年10月28日

柏市長 秋山 浩保

流山市戦没者追悼式



※写真提供 流山市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：流山市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：流山市生涯学習センター 多目的ホール
 (つくばエクスプレス 流山セントラルパーク駅 徒歩3分)
 日時：平成22年10月5日(火) ※例年10月・11月をめぐりに開催
 参加者数：171人
 連絡先：流山市役所 健康福祉部 社会福祉課 04-7158-1111(代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式のことば… 流山市教育委員会教育長
2. 国歌斉唱
3. 拝礼
4. 式辞… 流山市長
5. 黙とう
6. 追悼のことば… 流山市会議長、千葉県知事、衆議院議員、千葉県議会議員、流山市遺族会会長
7. 献花… 流山市長、来賓、参加者全員
8. 献詠… 流山吟詠会
9. 閉式のことば… 流山市水道事業管理者

式辞 (平成22年度)

本日ここに、平成二十二年度流山市戦没者追悼式を挙げるにあたり、十六万三千流山市民を代表し、式辞を申し述べます。

先の大戦では、三百万余の方々が、遠い異郷の戦場で祖国の安泰と、愛する家族の平穏を願いつつ、亡くなっていかれました。

私たちは、今日の平和と繁栄が、戦争によってかけがえのない命を落とされた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、ひとときも忘れることはありません。過去と謙虚に向き合い、悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、次の世代に継承していくことが多くの戦没者の思いに応える道であり、戦禍に倒れた方々に思いを馳せ、ここにその御冥福を心からお祈り申し上げます。

終戦から六十五年の歳月が過ぎ去りましたが、今日の日本の平和と繁栄は、命を落とされた方々の尊い犠牲と、戦後の国民のたゆまぬ努力の上に築かれております。

しかし、世界では常に紛争やテロが絶えず、平和の大切さ、自由の尊さを、改めて思い知らされる事態がおこっています。

本市では、昭和六十二年に平和都市宣言を行って以来、平和に関する施策を展開し、恒久平和の重要性を市民の皆様へ訴えてまいりました。

私はここに、流山市民を代表し、平和の大切さ、自由の尊さを広く行き渡らせる努力を重ねるとともに、市民一人ひとりが、心のかよった真の豊かさが実感できる魅力ある都市づくりの実現を目指し、恒久平和の確立と市民福祉の向上に最善を尽くしてまいりたいことをお誓い申し上げます。

終わりにあたり、戦没者並びに戦災犠牲者の御冥福を謹んでお祈り申し上げるとともに、御遺族の皆様への御健勝をお祈りして、式辞といたします。

平成二十二年十月五日

流山市長 井崎 義治

銚子市戦没者追悼式



開催概要 (平成22年度)

歳時名：銚子市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：銚子市青少年文化会館
 (銚子電鉄 観音駅 徒歩7分)
 日時：平成22年11月10日(水) ※例年11月頃開催
 参列者数：130人
 連絡先：銚子市民生部 社会福祉課 0479-24-8181 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式のことば
2. 拝 礼
3. 国 歌 斉 唱
4. 黙 と う
5. 式 辞 … 銚子市長
6. 追悼のことば … 千葉県知事、銚子市議会議長、千葉県遺族会長
7. 思い出のことば … 遺族代表
8. 献 花
9. 電 報 披 露
10. 献 詠 … 静心流銚子吟詠会
11. お礼のことば … 銚子市遺族会長
12. 閉式のことば



※写真提供 銚子市
 (写真は平成21年度のもの)

嗚呼戦災死者之碑



基本情報

所 在：銚子市立体育館 隣
 住 所：千葉県銚子市前宿町 1 1 4 0
 (銚子電鉄 観音駅 徒歩10分)
 連 絡 先：銚子市 民生部 社会福祉課 0 4 7 9 - 2 4 - 8 1 8 1 (代表)
 建 立 者：戦災死者慰霊碑建設委員会
 建 立 年：昭和52年8月15日

碑 文

嗚呼戦災死者之碑

第二次世界大戦の末期昭和二十年三月九日及び七月二十日八月一日の三回に亘り銚子市は敵機の空襲を受けました 其の際我等が同胞三百三十七名は悲惨にも萬感の思ひをこめて戦災死致しました 嗚呼実に痛恨の限りであります 時あたかも本年は戦災死後三十三回忌に当り鎮魂の願いをこめてここに慰霊碑を建立し以て諸霊の御冥福を心より祈り上げます

戦災死者慰霊碑建設委員会

代表 美呂津太兵衛書

昭和五十二年八月十五日 長塚由松

他有志一同

題字 銚子市長 嶋田隆書

川崎市戦没者追悼式



開催概要（平成22年度）

歳時名：川崎市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）
 （J R武蔵中原駅 徒歩1分）
 日時：平成22年10月7日（木） ※例年10月上旬頃開催
 参列者数：518人
 連絡先：川崎市健康福祉局 地域福祉課 044-200-2111（代表）

式次第（平成22年度）

1. 開式のことば…川崎市健康福祉局長
2. 「君が代」斉唱
3. 黙とう
4. 式辞…川崎市市長、川崎市遺族連合会会長
5. 追悼のことば…川崎市議会議長、神奈川県知事、神奈川県議会議長、神奈川県遺族会会長
6. 来賓紹介
7. 献花…川崎市市長、川崎市遺族連合会会長、来賓、遺族代表ほか
8. 閉式のことば…川崎市健康福祉局地域福祉部長

式辞（平成22年度）

本日ここに、多くの御来賓の御列席を得て、平成二十二年度川崎市戦没者追悼式を執り行うにあたり、川崎市を代表し、式辞を申し述べます。

先の大戦において、祖国を思い、家族を案じつつ、心ならずも戦場に散り、戦禍に遭われ、あるいは遠い異郷の地で亡くなられた、戦没者並びに戦災死者の御霊に対し、謹んで追悼の意を表します。

また、御遺族の皆様方は、最愛なる肉親を失い、深い悲しみを抱え、絶望の淵に立たされながらも、懸命なる努力により、あらゆる苦難を乗り越えてこられました。

これまでの、その計り知れない御苦労と御努力に対しまして、心から敬意を表するしだいでございます。

終戦から六十五年の歳月が経過しましたが、その間、私たちは戦没者並びに戦災死者の方々の尊い犠牲を礎に、たゆみない努力を積み重ね、恒久平和を切に願ひ続けてまいりました。

しかしながら世界では、今なお武力による争いが後を絶たず、多くの人々が傷つき、かけがえのない命が失われていることに、遺憾の念を抱くとともに強く憤りを覚えるしだいであります。

平和への想いは、いつの時代においても、なにものにも代えがたい普遍の願いです。

私たちは、将来を担う若い世代に、戦争の悲惨さを語り継ぎ、失われた命の尊さと平和の大切さを伝えていかなければなりません。

私は、人が人を支え、大切な命を尊び育む「人間都市」づくりをはじめ、川崎の魅力が輝き、活力にあふれる日本一の都市づくりを見据え、「新たな飛躍」を目指して、様々な取り組みに全力を傾注してまいりますことを今日ここにお誓い申し上げ、市民の皆様とともにこの平和を、より一層充実させてまいりたいと存じます。

終わりに、戦没者並びに戦災死者の方々の御冥福と世界の恒久平和の確立を心からお祈り申し上げますとともに、併せて御遺族をはじめ本日御参列いただきました皆様方の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、式辞といたします。

平成二十二年十月七日
 川崎市市長 阿部 孝夫

川崎市戦没者慰霊塔



基本情報

所 在： 夢見ヶ崎動物公園
 住 所： 川崎市幸区南加瀬 1-2-1
 (JR新川崎駅 徒歩15分)
 連 絡 先： 川崎市 健康福祉局 地域福祉課 044-200-2111 (代表)
 建 立 者： 川崎市
 建 立 年： 昭和35年7月

碑 文

慰霊塔

慰霊塔記

この慰霊塔は明治以降幾多の戦争において護国のために散萃された戦没者並びに戦災死者の霊を慰め かつその冥福を祈るため建てられたものである
 われらは 諸霊のみ前において戦争を阻止し 国際平和の実現と福祉社会の建設に努力することをお誓いする

昭和三十五年七月
 川崎市長金刺不二太郎

御幸地区戦災殉難者群霊墓碑



基本情報

所 在：延命寺
 住 所：神奈川県川崎市幸区都町4-2
 (JR川崎駅 徒歩15分)
 連絡先：延命寺 044-522-0702
 建 立 者：延命寺
 建 立 年：昭和22年4月

碑 文

御幸地区戦災殉難者群霊

.....

御幸区戦災者氏名 百六十名



扇島身代り地藏尊



基本情報

所在：扇町三叉路交差点付近
 住所：神奈川県川崎市川崎区扇町1-2
 (JR昭和駅 徒歩2分)
 連絡先：不明
 建立者：扇町町内会
 建立年：昭和50年7月25日

碑文

【表】

扇島身代り地藏尊

【裏】

昭和二十年四月十五日より七月二十六日
 未明迄による史上最大の空爆に於ける
 犠牲者の冥福を祈り今後の諸安全
 を祈願してこの地藏尊を建立する
 ものであります

昭和五十年七月二十五日

平和祈念碑



基本情報

所 在：大通り公園内
 住 所：神奈川県横浜市中区弥生町4付近
 （横浜市営地下鉄 阪東橋駅 徒歩1分）
 連 絡 先：横浜戦災遺族会 045-712-5463
 建 立 者：横浜戦災遺族会
 建 立 年：平成4年5月29日

碑 文

平和祈念碑 由来之記

1941年12月8日 日本軍の米国真珠湾軍港に対する奇襲攻撃により 大日本帝国は 連合軍との間に戦端を開くに至った。その後1945年8月15日に至り わが民族の滅亡を憂うご聖断により漸く敗戦の日を迎えた。

その間 三年九ヶ月余。政・軍・官の情報統制の下 一般庶民は戦争の実相を知らされることなく ひたすら盲従を強いられた日々であった。戦線が次第に日本本土に近づくにつれ 米軍機による空爆は熾烈を極め 国内百数十の都市が軍事施設・民間施設の別なく攻撃を受け 非武装の一般民衆が多数犠牲となった。横浜はこの間三十数回の空爆を受けた。特に1945年5月29日白昼 当時世界最大級の重爆撃機B29五百余機 随伴戦闘機P51百余機の連合軍機により 市内は絨毯爆撃を受けること一時間余。焼夷弾換算四十三万余発の投下により市内は焦熱地獄の様相を呈し 非武装の民衆に万余の犠牲者を生ぜしめた

この地に戦火止みて既に四十数年の歳月が経過したが 残された遺族の心の傷は今なお癒えることはない。当時を知る遺族も その多くは鬼籍に入り 犠牲者達の恒久平和を希求する声なき声を伝えるべきよすがとして失われようとしているこの時 遺族縁類相寄り相扶け 私財を投じ 心ある市民の合力を得て 平和祈念碑建立を發願した。

祈念碑回廊中には犠牲者の姓名を彫刻し そのアイデンタティを復活せしめ 共に手をたずさえて平和のメッセージを伝え 全世界において我らが子々孫々に至るまで戦争の惨禍におびえることなく恒久平和を享受出来る世界の実現を願い 惻隱の情を意味する「愛」と 飢餓のない世を理想とする「平和」の文字を 我らのいのちを支える「地球」に配して象徴とした。幸い 横浜市会代表の正・副議長殿の賛同を得 国会・県議会有志議員諸賢 神奈川県知事殿の賛意を得た。題字には 横浜市長 高秀 秀信殿のご揮毫になる「平和祈念碑」の彫刻を付し 横浜市からは施設設置許可を受け この地に恒久平和実現の為の一里塚として この碑を建立した。

除幕式には 国際連合駐日代表殿 広島市長殿 長崎市長殿世界各地のピース・メッセージャー都市首長殿から 多数の献辞が寄せられた。

この人類至高の祈りが 志ある人々により継承発展され 犠牲者も平和の使徒の先駆者として 至福の時を 共に迎える日の近きことを信ずる。

1992年5月29日
 横浜戦災遺族会
 会長 池谷榮一撰

戦争犠牲者諸聖霊



基本情報

所 在：慶珊寺
 住 所：神奈川県横浜市金沢区富岡東4-1-8
 （京急電鉄 京急富岡駅 徒歩15分）
 連 絡 先：慶珊寺 045-772-3264
 建 立 者：慶珊寺 第十九世隆定識
 建 立 年：昭和55年

碑 文

【表】

戦争犠牲者諸聖霊

【側面】

昭和二十年六月十日横浜市富岡町ハ米軍ノ爆撃ヲ受ケ数多
 ノ犠牲者ヲ出ス 偶々当地ニアッテ非業ノ死ヲトゲシ諸聖
 霊無念ノ恨ミヲイダキテ当苑ニテ仮葬セララル 時移リ平和
 ノ世トナリテ三十数星霜往時ヲ知ル人数ナシ 今ココニ檀
 徒有志ト共ニ供養塔ヲ建立シ聖霊ヲ慰メ併セテ戦没者各霊
 ノ追福菩提ヲ祈ルモノナリ

昭和五十五年春 慶珊寺第十九世隆定識

ガラスのうさぎ像



基本情報

所 在： J R 二宮駅 南口ロータリー
 住 所： 神奈川県中郡二宮町二宮 8 3 8 付近
 (J R 二宮駅前)
 連 絡 先： 二宮町 総務部 総務課 0 4 6 3 - 7 1 - 3 3 1 1 (代表)
 建 立 者： 「ガラスのうさぎ」像を二宮駅に建てる会
 建 立 年： 昭和 5 6 年 8 月 5 日

碑 文

ガラスのうさぎ
 圃鋳作

説 明 文

太平洋戦争終結直前の昭和二十年八月五日
 ここ（国鉄）二宮駅周辺は艦載機 P 5 1 の機銃掃射を受け 幾人かの尊い生命がその犠牲となりました
 この時 目の前で父を失った十二歳の少女が その悲しみを乗り越え けなげに生き抜く姿を描いた戦争体験記「ガラスのうさぎ」は国民の心に深い感動を呼び起こし 戦争の悲惨さを強く印象づけました
 この像は私たち二宮町民が 平和の尊さを後世に伝えるために また少女を優しく励ました人たちの友情をたたえるために 多くの方々のご協力をいただき 建てたものです
 少女が胸に抱えているのは 父の形見となったガラスのうさぎです

ここに平和と友情よ永遠に

昭和五十六年八月五日
 「ガラスのうさぎ」像を二宮駅に建てる会

小田原空襲の碑



基本情報

所 在：青物町交差点角（レストラン壁面）
 住 所：神奈川県小田原市浜町3-1-32
 （JR小田原駅 徒歩15分）
 連 絡 先：大南勝彦 0465-22-0723
 建 立 者：大南勝彦
 建 立 年：平成2年6月10日

碑 文

小田原空襲の碑

第二次世界大戦最後の空襲
 大南勝彦

その昔 小田原宿は、東海道沿いと甲州街道沿いとに家並みがひろがっていましたが、当家の所は此の両者の交わる地点で、青物町一丁田へと伸びる甲州街道の基点でもありました。

第二次世界大戦、いわゆる太平洋戦争の最後の日の夜半から早曉にかけ、当地はアメリカ空軍B29爆撃機による焼夷弾爆撃を受けました。

一九四五年（昭和二十年）八月十四日夜半、B29一機が来襲。まず照明弾が落とされ、旧甲州街道沿いに大量の焼夷弾攻撃を展開、当家は八箇の焼夷弾による直撃を受けましたが、警防団の消火活動で一旦鎮火。しかし十五日午前一時頃炎に包まれました。

高梨町、青物町、宮小路、一丁田など、焼失家屋は合わせて四〇二戸。罹災者一八四四人。負傷者六五人。死者四八人を数えました。

日本がポツダム宣言受諾を打電したのは八月十日でしたが、その後も交戦状態は続き、無条件降伏を決定したのは八月十四日、小田原空襲はそのあとに行われたもので、国内の他の数カ所の地域と共に、文字通り第二次世界大戦最後の空襲でした。

平塚市平和慰霊塔



※写真提供 平塚市

基本情報

所 在：平塚八幡山公園
 住 所：神奈川県平塚市浅間町1
 (JR平塚駅 徒歩15分)
 連絡先：平塚市 福祉部福祉総務課 0463-23-1111 (代表)
 建 立 者：平塚市
 建 立 年：昭和40年12月27日

碑 文

戦災による殉難の諸霊を平和慰霊塔に合祀し

つつしみて短歌三首を捧ぐ

米軍の空襲の日に被爆して倒れし市民(とも)の霊(たま)を弔う

この塔にあわせまつりと悲しみの市民のみ霊よ永久にやすかれ

戦いは地獄なりけりつぎの世にこのかなしみをまたあらしめじ

平塚市長 加藤一太郎

平塚市戦争犠牲者を追悼し平和を祈念する集い



※写真提供 平塚市

開催概要 (平成22年度)

歳 時 名：平塚市戦争犠牲者を追悼し平和を祈念する集い
 会 場：平塚市八幡山公園内平和慰霊塔前広場
 (JR平塚駅 徒歩15分)
 日 時：平成22年10月22日(金) ※例年10月開催
 参列者数：123人
 連絡先：平塚市 福祉部 福祉総務課 0463-23-1111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. はじめに…平塚市副市長
2. 黙とう…参列者
3. 式辞…平塚市長
4. あいさつ…平塚市議会代表、平塚市遺族会会長
5. 献花…参列者
6. 平和を願って…平塚市立中原中学校3年生代表
作文朗読
7. 唱歌…平塚童謡の会
8. おわりに…平塚市福祉部長

式 辞 (平成22年度)

本日、ここに戦争犠牲者のご遺族並びにご来賓の方々をはじめ、大勢の皆様のお参列をいただき、「平成二十二年度平塚市戦争犠牲者を追悼し平和を祈念する集い」を開催するにあたり、二千八百五十六柱の御霊に、平塚市民を代表して謹んで追悼の言葉を申し上げます。

先の大戦が終結してから早くも六十五年の歳月が過ぎ去りました。
 本日、こうして平和慰霊塔の前にたたずみ、祖国の安泰と繁栄を願い、そして最愛の肉親、友人の幸せを祈りつつ戦場で散った戦没者の皆様、穏やかな日常を空襲によって奪われた戦争殉難者の皆様、また、かけがえのない肉親を戦渦によって失いながらも、戦後の幾多の困難な道のりを乗り越え、残された御家族を立派に守り抜かれた御遺族の皆様の、それぞれの深い悲しみや、多くの御苦勞を顧みます時、今もなお尽きることのない悲しみが胸に込上げてまいります。

(中略)

本日、ここに戦争犠牲者の御冥福を心からお祈りするとともに、御遺族並びに御列席の皆様のお多幸と御健勝を祈念して式辞といたします。

平成二十二年十月二十二日 平塚市長 大藏 律子

東京都慰霊堂



基本情報

所 在：東京都横網町公園
 住 所：東京都墨田区横網2-3-25
 （都営地下鉄 両国駅 徒歩2分）
 連 絡 先：横網町公園事務所 03-3622-1208
 建 立 者：東京都
 建 立 年：昭和26年9月（震災記念堂としては昭和5年9月建立）

経 緯

震災記念堂 東京都慰霊堂 由来記

顧れば1923（大正12）年9月1日突如として関東に起こった震災は東京市の大半を焦土と化し、5万8千の市民が業火の犠牲者となった。このうち最も惨禍をきわめたのは陸軍被服廠跡で、当時横網町公園として工事中であった。与論は再びかかる惨禍なきことを祈念し慰霊記念堂を建立することとなり官民協力広く浄財を募り伊東忠太氏等の設計監督のもとに1930（昭和5）年9月この堂を竣成し東京震災記念事業協会より東京市に一切を寄付された。

堂は新時代の構想を加味した純日本風建築の慰霊納骨堂であると共に、広く非常時に対応する警告記念として、亦公共慰霊の道場として設計された三重塔は135尺基部は納骨堂として5万8千の霊を奉祀し約200坪の講堂は祭式場に充て正面の祭壇には霊碑霊名簿等が祀られてある。

爾来年々祭典法要を重ね永遠の平和を祈願し「備えよつねに」と相戒めたのであったが、はからずも1944（昭和19）、45（昭和20）年等にいたって東京は空前の空襲により連日爆撃焼夷の禍を受け数百万の家屋財宝は焼失し無慮十万をこえる人々はその難に殉じ大正震災に幾倍する惨状を再び見るに至った。戦禍の最も激しきをきわめたのは45（昭和20）年3月10日であった。江東方面はもとより全都各地にわたって惨害をこうむり約7万7千人を失った。当時殉難者は公園その他130ヶ所に仮埋葬されたが48（昭和23）年より逐次改葬火葬しこの堂の納骨堂を拡張して遺骨を奉安し、51（昭和26）年春戦災者整葬事業を完了したので東京都慰霊堂と改め永く諸霊を奉安することになった。

横網公園敷地は約6000坪、慰霊堂の建坪は377坪余、境内には東京復興記念館 中華民国仏教団寄贈の弔霊鐘等があり、又災害時多くの人々を救った日本風林泉を記念した庭園及び大火の焔にも耐え甦生した公孫樹を称えた大並木が特に植えられてある。

1951（昭和26）年9月 東京都

東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑



基本情報

所 在：都立横網町公園内
 住 所：東京都墨田区横網2-3-25
 （都営地下鉄 両国駅 徒歩2分）
 連 絡 先：東京都復興記念館 03-3622-1208
 建 立 者：東京都
 建 立 年：平成13年3月

説明文

東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑

第二次世界大戦で、東京は、昭和17年4月18日の初空襲から終戦当日の昭和20年8月15日に至るまで、アメリカ軍の度重なる空襲により甚大な被害を受け、大方が非戦闘員である多くの都民が犠牲となりました。

こうした東京空襲の史実を風化させることなく、また、今日の平和と繁栄が尊い犠牲の上に築き上げられていることを次の世代に語り継ぎ、平和が永く続くことを祈念するための碑を建設しました。

この碑の建設に当たっては、「東京の大空襲犠牲者を追悼し平和を願う会」の呼びかけにより、多くの方々から寄附が寄せられました。

斜面を覆う花は生命を象徴しています。碑の内部には東京空襲で犠牲になった方々のお名前を記録した「東京空襲犠牲者名簿」が納められています。

平成13年3月 東京都

夢違之地蔵尊



基本情報

所 在：菊川橋西側 菊川橋児童遊園内
 住 所：東京都墨田区菊川3-13-2
 (都営地下鉄 菊川駅 徒歩5分)
 連 絡 先：弥勒寺 03-3632-3692
 建 立 者：遺族有志
 建 立 年：昭和58年3月10日

説明文

夢違地蔵尊縁起

一九二三年(大正十二年)関東大震災に於ける下町の惨禍は遭難死者五万八千名に及びその遺骨を収納し、東京都慰霊堂が建立され、その加護と平安を願い毎年九月一日を記念日と定め、官民あげて法要が営まれているが、この地も焦土と化しその物故者も多いため、毎年その慰霊法要を行うに至った。一九四一年(昭和十六年)太平洋戦争勃発し、戦局利にあらず、殊に一九四五年(昭和二十年)三月九日より十日にかけての米戦略爆撃機B29による東京空襲は最も熾烈を極め僅か数時間で下町を中心に二十七万八千余戸を焼失し無慮七万八千余の殉難者を出した広島 長崎の原爆の戦史に比類する永遠に忘れ得ぬ悲惨な史実である。

まだ春浅き三月九日夜半 雨あられの如く投下された焼夷弾は、いとまなき出火となり立ち向かう術もなく、劫火の中を、親は子を子は親を、呼び合い叫び逃げまどい 或は壕に入り、水面に飛込み、或は公園、校舎に走り、ついに力尽きてその声も消え果て、やがて倒れ重なりまっ黒な焼身と化し、水に入りては沈泥に骸と果て、翌朝光の中の惨状は眼を覆うばかりであった。生き残れる者僅かにしてそのさまは亡者のようであった。この地の殉難者数約三千余名といわれている。

この地蔵尊の在わします菊川橋周辺の惨禍は、東京大空襲を語る時後世まで残るもので霊地として守らねばならない聖域である。而して復興なり一九八三年(昭和五十八年)三月十日、誠心集い浄財を集め仏縁深き弥勒寺住職の教示を得て、これか悪夢の消滅を願い、これを善夢に導き、再びこの悲史をくり返さないようにと、夢違之地蔵尊と命名され開眼法要、殉難者追悼供養を施行した。

時移り再び多大なる協賛を得て夢違之地蔵尊縁起の史碑建立となり地蔵講が生まれた。願わくば子々孫々への加護と人類の平和を祈念して本日此処に慰霊法要を謹んで行うものである。

合掌

一九八五年三月十日

弥勒寺第五十七代住職 岩堀真至謹書
 夢違之地蔵尊縁起史碑建立 協賛者一同

戦災殉難諸精霊供養之碑



基本情報

所 在：能勢妙見山別院
 住 所：東京都墨田区本所4-6-14
 （都営地下鉄 本所吾妻橋駅 徒歩10分）
 連 絡 先：能勢妙見堂 03-3623-2484
 建 立 者：檀家有志
 建 立 年：昭和36年3月10日

碑 文

【表】

戦災殉難諸精霊供養之碑

【裏】

昭和三十六年三月十日
 東京都知事 東 龍太郎



戦災殉難者供養之碑



基本情報

所 在：法恩寺
 住 所：東京都墨田区太平1-26-16
 (JR錦糸町駅 徒歩10分)
 連 絡 先：法恩寺 03-3622-8267
 建 立 者：遺族有志
 建 立 年：昭和20年9月

碑 文

戦災殉難者供養之碑



戦災殉難者慰霊之塔 ほか



戦災殉難者慰霊之塔(左)と
戦災精霊五十回忌供養塔(右)

戦災懐古の碑

基本情報

所 在：明源寺
 住 所：東京都墨田区立花1-13-10
 (東武鉄道 東あずま駅 徒歩5分)
 連 絡 先：明源寺 03-3617-5858
 建 立 者：遺族有志
 建 立 年：戦災殉難者慰霊之塔 昭和40年3月
 戦災懐古の碑 昭和42年3月
 戦災精霊五十回忌供養塔 平成 7年

碑 文

戦災殉難者慰霊之塔

時に昭和二十年三月十日未明空襲
 における戦災殉難者及び地区内百
 二十余命の霊を慰めるものなり

昭和四十年三月建立

発願人 中田武雄

暗雲低覆我家偕 満目荒涼累積骸
 来襲米機焚萬物 敗兵涙見墨東街
 戦災懐古

昭和四十二年三月

まん つくり かく

戦災精霊五十回忌供養塔

爆音鳴響米機来 一意護都遇戦災
 君死我存今日到 叩頭僅獻慰霊杯
 追憶献杯 二十五世 巨宗萬年

戦災殉難諸精霊供養塔



基本情報

所 在：慈光院
 住 所：東京都墨田区立花1-29-3
 (東武鉄道 東あずま駅 徒歩8分)
 連 絡 先：慈光院 03-3612-4469
 建 立 者：住職 竹内法雄、地元有志一同
 建 立 年：昭和48年11月25日

碑 文

【表】

戦災殉難諸精霊供養塔

【裏】

昭和四十八年十一月二十五日建立
 住職 竹内法雄
 地元有志一同

大東亜戦争殉難者之碑



基本情報

所 在：円通寺
 住 所：東京都墨田区押上2-39-6
 (都営地下鉄 押上駅 徒歩5分)
 連 絡 先：円通寺 03-3611-5508
 建 立 者：元吾嬬町西一丁目連合町会会長 小野内寿松、役員一同
 建 立 年：昭和43年3月10日

※一般戦災死没者を含む

碑 文

【表】

大東亜戦争殉難者之碑

昭和二十年三月十日

【表】

元吾嬬町西一丁目連合町会会長 小野内寿松
外役員一同

昭和四十三年三月十日建立
野澤勝治書

東京大空襲戦災犠牲者追悼碑



基本情報

所 在：隅田公園 言問橋西側
 住 所：東京都台東区浅草7-1
 (東武鉄道 浅草駅 徒歩10分)
 連 絡 先：台東区 都市づくり部 公園課 03-5246-1111 (代表)
 建 立 者：台東区
 建 立 年：昭和61年3月

碑 文

あゝ 東京大空襲 朋よやすらかに

説 明 文

戦災により亡くなられた方々の碑
 台東区浅草七丁目一番

隅田公園のこの一帯は、昭和二十年三月十日の東京大空襲等により亡くなられた数多くの方々を仮埋葬した場所である。

第二次世界大戦（太平洋戦争）中の空襲により被災した台東区民（当時下谷区民、浅草区民）は多数に及んだ。

亡くなられた多くの方々の遺体は、区内の公園等に仮埋葬され、戦後だびに付され東京都慰霊堂（墨田区）に納骨された。

戦後四十年、この不幸な出来事や忌わしい記憶も、年毎に薄れ、平和な繁栄のもとに忘れ去られようとしている。

いま、本区は、数少ない資料をたどり、区民からの貴重な情報に基づく戦災死者名簿を調製するとともに、この地に碑を建立した。

昭和六十一年三月 台東区

戦災慰霊碑



基本情報

所 在：真源寺（入谷鬼子母神）
 住 所：東京都台東区下谷1-12-16
 （東京メトロ 入谷駅 徒歩2分）
 連 絡 先：真源寺 03-3841-2569
 建 立 者：浅草畳工業組合
 建 立 年：昭和42年3月9日

碑 文

【表】

戦災慰霊碑

【裏】

昭和四十二年三月九日
 浅草畳工業組合建立



平和地蔵尊



基本情報

所 在：浅草寺
 住 所：東京都台東区浅草2-3-1
 (東京メトロ 浅草駅 徒歩5分)
 連 絡 先：浅草寺 03-3842-0181
 建 立 者：龍郷定雄
 建 立 年：昭和24年4月

碑 文

平和地蔵尊

説 明 文

平和地蔵尊由来記

オ二次世界大戦はその規模においても その被害
 についてもまことに甚大であった ことに昭和二
 十年三月十日の大空襲には この附近一帯は横死
 者の屍が累として山をなし その血潮は川となっ
 て流れた その惨状はこの世の姿ではない これ等
 の戦争犠牲者の霊を慰めることこそ 世界平和
 建設の基となるものである ここに平和地蔵尊を
 祭り その悲願を祈るため 昭和二十四年四月
 こゝに安置された才第である

浅草大平和塔



基本情報

所 在：浅草寺
 住 所：東京都台東区浅草2-3-1
 (東京メトロ 浅草駅 徒歩5分)
 連 絡 先：浅草寺 03-3842-0181
 建 立 者：浅草大平和塔維持会
 建 立 年：昭和38年8月15日

碑 文

みたまよ とこしえに 安らかに われら守らん 世界の和
 湯川秀樹

説 明 文

建設趣意書

思い出づる調べも哀し昭和二十年三月九日の夜、
 B29百五十機の大空襲により浅草一带は火の海とな
 る。地をなめるようにして這う火焰と秒速三十米を
 こす 烈風にあふられ、親は子と呼び、子は親を求む
 れど、なすすべもなし。おののき叫び逃げまどい、
 悪夢の如き夜が去れば……眼にうつるものは一面の
 焦土にて、一木一草の生づるもなく、あわれ身を焼
 かれ路傍に臥す無辜の犠牲者は一万余柱を数う。

当時その凄惨な状況は一片の新聞だに報道される
 ことなく、敗戦後に生まれた子供達は戦争の惨禍を知
 るよしもない。いたましく悲しい夜もいつしか歴史
 の一駒として消えて行くであろう。

よって我々はここに当時を偲び、不幸散華された
 御霊の安らげく鎮まりまさんことを祈り、二度とあ
 やまちを繰返すことなく永遠に世界の平和を守らん
 ことを誓い、浅草観音の浄域にこの碑を建立する。

以て瞑せられよ。

昭和三十八年八月十五日

浅草大平和塔維持会

時忘れじの塔



基本情報

所 在：上野公園 いこいの広場
 住 所：東京都台東区上野公園5-20
 (JR上野駅 徒歩5分)
 連 絡 先：上野公園 03-3828-5644
 建 立 者：海老名香葉子、有志一同
 建 立 年：平成17年3月9日

碑 文

時忘れじの塔

関東大震災（大正十二年） 東京大空襲（昭和二十年）

東京にも、現在からは想像もできない悲しい歴史があります。
 今、緑美しい上野の山を行き交う人々に、そのような出来事を
 思い出してもらおうとともに、平和な時代へと時をつなげる心の
 目印として、この時計台を寄贈しました。

建立、寄贈 初代林家三平妻 海老名香葉子
 建立有志一同

慰霊碑 哀しみの東京大空襲



基本情報

所 在：寛永寺
住 所：東京都台東区上野公園17付近
(JR上野駅 徒歩5分)
連 絡 先：寛永寺 03-3828-5644
建 立 者：海老名香葉子、有志一同
建 立 年：平成17年3月9日

碑 文

慰霊碑 哀しみの東京大空襲

何の罪もない多くの人々が、戦時体制の下で悲惨な最期を遂げられたことを心から悼み、あらためてそのご冥福をお祈りすると共に、再びこうした悲劇が繰り返されないことを願って、この慰霊碑を建立する。

平成十七年（二〇〇五）年三月十日

説 明 文

哀しみの心をいつまでも

今年、昭和二十（一九四五）年の第二次世界大戦の終結からちょうど六十年、あの本所、深川を中心とした三月十日の「東京大空襲」も、次第に人々の記憶から薄れていこうとしています。

この年は、元旦早々B29が飛来して、浅草付近を空襲したのに始まり、一月だけでも百機を超える来襲があり、五百発もの爆弾と二千五百発もの焼夷弾が投下され、何の罪もない千五百余人の一般市民が死傷されました。

その後も東京は、実に数十回にも及ぶ空襲を受け、中でも三月九日の夜半から十日にかけての空襲は言葉に絶する程凄まじいものでした。

房総半島を経て飛来したB29は、十日の午前零時八分から一斉に下町を襲いました。この日来襲したB29は三百二十五機といわれ、実に千七百トンもの高性能焼夷弾を投下したのです。

人々は隅田川や上野公園を目指して必死に逃げましたが、このたった二時間の間に、実に十万人以上の方が犠牲になられたのです。

それは今想いだしても、本当の地獄図といえる程、悲惨な光景でした。

そして、翌日からこの上野の山には焦土と化した下町から夥しい数のご遺体が運ばれて来ました。この慰霊碑の付近の道端にも、米俵や箆を掛けられたご遺体が並べられたのです。

やがて、大八車やリヤカーを引いて、ご遺体を引き取りにみえる方もありましたが、多くのご遺体は身元不明のままでした。

そうしたご遺体は、この近くに巨大な穴を掘って、そこに仮埋葬され二年後に改めて掘り起こされ、茶毘に付されたうえ、本所横網町の震災記念堂にお祀りされました。

無論、こうした東京への空襲はその後も続きました。なかでもこの上野の山とその周辺が罹災した五月二十四日、二十五日の空襲は、凄まじいものでした。

今、終戦から六十年の歳月が経ち、こうした生々しい記憶が次第に薄れていきつつある時、下町の焦土化を見守り、そこでの無辜の犠牲者を暖かく迎えたこの上野の山に、私たちは心からの慰霊碑を建て、東京全域に亘る悲惨な犠牲者の霊を弔い、これからの日本を支えていく若い人々に、この「哀しみの心」を伝えていきたいと希っているのです。

平成十七（二〇〇五）年三月十日

海老名香葉子
建立有志一同

戦災犠牲者慰霊碑



基本情報

所 在：東深川橋 南側
 住 所：東京都江東区白河2
 (都営地下鉄 清澄白河駅 徒歩5分)
 連 絡 先：都合により記載せず
 建 立 者：平谷章
 建 立 年：昭和46年8月15日

碑 文

昭和二十年三月九日夜の大空襲により首都東京は一瞬に
 して火の海と化し我白河二丁目もまた廃墟となる
 その夜の焼死者実に七百余名の多きに及ぶ 其惨状は筆舌
 につくし難い同年八月十五日終戦となる
 我々町民は全くの無一物焦土の中より起上り復興の為凡ゆる困
 苦と闘ひ欠乏に耐えて廿六年今日戦前にもました未曾有の繁栄
 を遂ぐるに至る顧みて幾多の尊き犠牲者の冥福を祈り今後戦争の
 絶滅を期すると共に我町会の復興を記念して茲に相計り記念碑を建立する

昭和四十六年八月十五日 町会長 平谷章 記

在日五十四年帰国記念為建之



戦災殉難者供養之碑



基本情報

所 在：普門院
 住 所：東京都江東区亀戸3-4-3-3
 (JR亀戸駅 徒歩15分)
 連 絡 先：普門院 03-3681-8304
 建 立 者：有志一同
 建 立 年：昭和21年3月10日

碑 文

昭和二十年三月十日歿
 戦災殉難者供養之碑

説 明 文

時も忘却も我が涙を乾すまじ

この碑は昭和二十年三月十日我国で
 最初の大量の犠牲者を出した大空
 襲による多くの殉難者を悼むために亀戸
 駅前の焦土に建てた供養碑であります

昭和二十九年晩秋都市区割整理
 に依て奉賛会は普門院の浄域を擇んで
 移転し平和の礎となつた貴い人々
 の冥福を永遠に祈るために奉安
 しました

昭和三十年三月十日 誌

誌

この碑は昭和貳拾年参月拾日の亀戸地区戦災殉難者
 供養のため建立せられたものであります
 本年三十三回忌を迎えるに当り記念事業として永く
 後世に伝えるため碑及び周辺の整備改修を行い再び
 惨禍を繰り返さないことを念願し諸霊位の冥福を祈
 るものであります

昭和五拾貳年参月拾日
 亀戸町会連合会

戦災殉難殃死者供養碑



基本情報

所 在：冬木弁財天
 住 所：東京都江東区冬木2-2-31
 (東京メトロ・都営地下鉄 門前仲町駅 徒歩8分)
 連絡先：冬木弁財天 03-3642-9051
 建 立 者：不明
 建 立 年：不明

碑 文

深川一丁目 深川二丁目 冬木町

戦災殉難殃死者供養碑

大僧正 慈道拝書



戦災殉難者諸精霊供養塔



基本情報

所 在：良信院
 住 所：東京都江東区三好3-7-5
 （都営地下鉄 清澄白河駅 徒歩5分）
 連 絡 先：良信院 03-3641-7594
 建 立 者：三好三丁目町会
 建 立 年：平成6年3月

碑 文

【表】

戦災殉難者諸精霊供養塔

【裏】

平成六年三月 五十回忌供養に之建

願主 三好三丁目町会

希いの像



基本情報

所 在：江東区役所
 住 所：東京都江東区東陽4-11-28
 (東京メトロ 東陽町駅 徒歩10分)
 連 絡 先：江東区 総務部 総務課 03-3647-9111 (代表)
 建 立 者：江東区
 建 立 年：平成57年3月10日

碑 文

希 い

江東区は、昭和二十年（一九四五年）三月九日夜半から十日にかけての、東京大空襲により、街は壊滅状態となり、多くの尊い人命を失いました。この犠牲者の鎮魂と恒久の平和、安全を念願し永く忘れないために、この記念像を建立したのであります。

この母子像は、母が子を慈しみ育て、幸せな日々が続き、そしてこの子が成長した時も平和な日々であることを願うものであり、人と人が愛しあい、国と国とが平和で結ばれていますよう祈るものであります。

平和の希いは、現在に生きる私たちの心であります。

昭和五十七年三月十日 建之
 江東区長 小松崎軍次

母子像「戦火の下で」



基本情報

所 在：東京大空襲・戦災資料センター
 住 所：東京都江東区北砂1-5-4
 （JR秋葉原駅より都営バス「北砂1丁目」下車 徒歩2分）
 連 絡 先：東京大空襲・戦災資料センター 03-5857-5631
 建 立 者：東京大空襲・戦災資料センター
 建 立 年：平成14年3月14日

説明文

「戦火の下で」

制作 河野 新

原型1978 設置2002.3.10

経 緯

河野新さん制作になるこの母子像は、江東区の母親たちが戦災の死者たちの追悼のためのモニュメントの建立を思い立った時、制作されたものです。センター開館にあたってブロンズ像となり、正面に置かれました。抱きしめた幼い命の無事をひたすら願う母の姿に、あの日の自分を重ね合わせる人も多いと思います。

（出典「戦災資料センターから東京大空襲を歩く」より）

世界の子どもたちの平和像（東京）



基本情報

所 在：東京大空襲・戦災資料センター
 住 所：東京都江東区北砂1-5-4
 （JR秋葉原駅より都営バス「北砂1丁目」下車 徒歩2分）
 連絡先：東京大空襲・戦災資料センター 03-5857-5631
 建 立 者：世界の子どもたちの平和像を東京につくる会
 建 立 年：平成13年5月5日

説明文

世界の子どもたちの平和像（東京）
 平和を育む

目をそむけません 過去の苦しさ いまの世界から
 決意します 核兵器も戦争もない二十一世紀をつくることを
 走りつづけます 世界の平和を願う歴史のリレーランナーとして 未来へ

「世界の子どもたちの平和像」は、平和を願う私たち子どもからあなたへ、あなたから未来へのメッセージです。

この子どもたちの平和像をつくる活動のきっかけは、広島にある「原爆の子の像」の話をきいて感動したアメリカの子どもたちが一九九五年に「子どもたちの平和像」をたて、「世界中に子どもたちの平和像をたてたい」とよびかけたことにあります。

私たちは、日本がアジアの国々を侵略していったこと、東京大空襲や沖縄戦、広島・長崎に原爆が投下されたこと、そして南太平洋で核実験の被害にあった第五福竜丸のことなどから、戦争や核兵器の悲惨さ、平和や生命の大切さを学んできました。そして、平和を願うたくさんの人々の思いを受けとってきました。

だから、この平和像に「核兵器と戦争のない二十一世紀を」「ひとりひとりの人権が大切にされる社会を」「差別や貧困のない世界を」という私たちの願いをこめています。

歴史の真実を学び、考えましょう。それは、もっともっと生命が大切にされる未来をつくることにつながるからです。

未来をつくるのは私たち子どもです。

学び、語り、伝え、ともに平和な未来をつくっていきましょう。

二〇〇一年五月五日

世界の子どもたちの平和像を東京につくる会

平和地蔵



基本情報

所 在：東京大空襲・戦災資料センター
 住 所：東京都江東区北砂1-5-4
 (JR秋葉原駅より都営バス「北砂1丁目」下車 徒歩2分)
 連絡先：東京大空襲・戦災資料センター 03-5857-5631
 建 立 者：石居幸蔵、親戚一同
 建 立 年：昭和29年3月10日

碑 文

【表】

平和地蔵

【裏】

石居幸蔵
 親戚一同
 建立

昭和二十九年三月十日
 石匠 秋本政雄

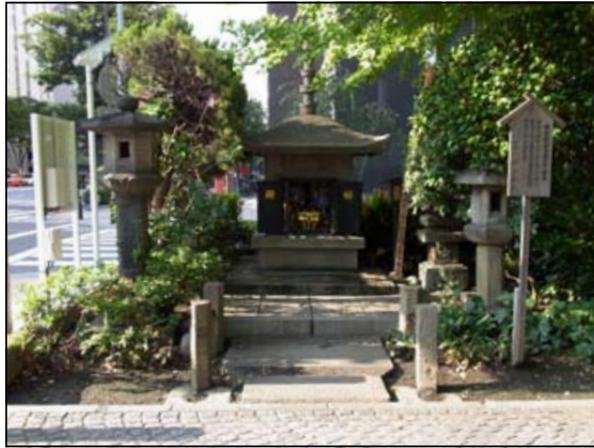
説 明 文

平和地蔵

平和地蔵の建立者、石居幸蔵さんは亀戸3丁目で鉄工所を営んでいたが、戦争末期に工場疎開で自宅とともに江戸川区に移転した。3月10日の空襲の後、亀戸の工場跡地近くに友人の安否を尋ねにいて、母と子などの夥しい焼死体を見た。これらの霊を慰めるため、子どもが地藏尊にしがみついている平和地蔵を、1954年(昭和29)3月10日、自宅に建てた。それ以来3代にわたって、2007年2月まで供養され、東京大空襲・資料センターに寄贈された。

提供 石居洋子氏

明治観音堂



基本情報

所 在：浜町公園
 住 所：東京都中央区日本橋浜町2
 （都営地下鉄 浜町駅 徒歩1分）
 連 絡 先：個人であり記載せず
 建 立 者：新田新作
 建 立 年：昭和25年12月

説 明 文

明治観音堂建立の由来

本堂は昭和二十年三月十日の
 戦災に依り戦没せる幾多の霊の
 冥福を祈る為建立す

昭和二十五年十二月
 発願主 新田新作

戦災遭難死者慰霊碑



基本情報

所 在：新亀島橋西側 新亀島橋児童遊園内
 住 所：東京都中央区日本橋茅場町3-13先
 (東京メトロ 茅場町駅 徒歩3分)
 連 絡 先：個人であり記載せず
 建 立 者：茅場町二、三丁目町会有志
 建 立 年：昭和53年3月10日

碑 文

【表】

戦災遭難死者慰霊碑

【裏】

昭和二十年三月十日夜半の空襲により
 全町焼失の際に遭難された霊を慰むる碑

昭和五十三年三月十日
 茅場町二、三丁目町会有志建之
 発起人代表 神林 清作

世代を結ぶ平和の像、旧小松川文書庫



旧小松川文書庫（元江戸川区役所文書庫）

基本情報

所 在：江戸川区小松川三丁目公園
 住 所：東京都江戸川区小松川3-6-2
 （都営地下鉄 東大島駅 徒歩10分）
 連 絡 先：江戸川区 総務部 総務課 03-3652-1151(代表)
 建 立 者：世代を結ぶ平和の像をつくる会
 建 立 年：平成3年3月10日

碑 文

【表】

世代を結ぶ平和の像
 圓鏝勝三作

【裏】

東京大空襲 江戸川区犠牲者追悼 世代を結ぶ平和の像

昭和20年3月10日の東京大空襲により、下町は炎の海と化し、10万人が亡くなり、100万人が家を失いました。

江戸川区でも、平井・小松川地区がほぼ全滅、800余名の人が尊い命を失い、当時小松川の地にあった区役所も消失し、その中で文書庫だけが焼け残りました。

江戸川区は、戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐ貴重な歴史的建築物として、文書庫を保存することにしました。

この母子像は、文書庫の保存を記念して、戦争の過ちを再び繰り返さない誓いを込めて、東京大空襲で理不尽にも尊い命を落とされた犠牲者を追悼し、平和の尊さを世代を越えて語り継ぐために、1万数千余の方々の浄財をもとに、戦災を体験された文化勲章受章彫刻家圓鏝勝三先生に制作を委嘱し、平成3年3月10日に「世代を結ぶ平和の像」をつくる会より、江戸川区に寄贈されたものです。

関東大震災、東京大空襲 犠牲者慰霊碑



基本情報

所 在：台場公園
 住 所：東京都港区台場1-10
 （東京臨海新交通ゆりかもめ お台場海浜公園駅 徒歩15分）
 連 絡 先：東京都港湾局 臨海開発部 海上公園課 03-5320-5576
 建 立 者：東京都港湾局
 建 立 年：平成6年3月

碑 文

東京は、関東大震災及び第二次世界大戦末期の空襲により甚大なる犠牲を被った。二度の被災により隅田川河口近くに位置したここ旧防波堤にも、漂着した犠牲者が数多くみられたという。

これら諸霊に対し、故富川栄氏の呼びかけに共鳴した地元の心ある人々により、長い歳月に亘りたゆみなき供養が続けられてきた。

いま、当地周辺は未来都市に発展すべくまちづくりがすすめられている。そして、ここお台場海浜公園も新たな海上公園として再整備することとなった。これを受け平成五年九月二七日当地での最後の慰霊祭が行われ、その後は都の施設にて慰霊が続けられることになった。この事実を後世に伝えるべくここに記録する。

平成六年三月吉日 東京都港湾局

「山の手空襲」追悼碑



基本情報

所 在：北青山三丁目 表参道交差点前
 住 所：東京都港区北青山3-6-12
 （東京メトロ 表参道駅 徒歩1分）
 連 絡 先：赤坂地区総合支所 03-5413-7011（代表）
 建 立 者：港区赤坂地区総合支所、区政六十周年記念事業実行委員会
 建 立 年：平成19年1月

碑 文

和をのぞむ

太平洋戦争の末期、昭和二十年五月、山の手地域に大空襲があり、赤坂・青山地域の大半が焦土と化しました。

表参道では、ケヤキが燃え、青山通りの交差点付近は、火と熱風により逃げ場を失った多くの人々が亡くなりました。

戦災により亡くなった人々を慰霊するとともに、心から戦争のない世界の平和を祈ります。

港区政六十周年にあたり、この地に平和を願う記念碑を建立します。

平成十九年一月

港区赤坂地区総合支所

区政六十周年記念事業実行委員会

殉難五君之碑



基本情報

所 在：円乗院
 住 所：東京都大田区南馬込5-15-5
 （都営地下鉄 西馬込駅 徒歩5分）
 連 絡 先：円乗院 03-3771-4016
 建 立 者：草薙忠
 建 立 年：昭和21年5月25日

碑 文

【表】

殉難五君之碑

【裏】

昭和二十年五月二十四日、夜半より早暁に亘る空襲
 下に挺身敢斗寮舎を死守し、この地に殉職せしる
 山田勇、松本長太郎、斉藤金雄、萩原實、
 佐藤義夫五君の、壮烈果敢なる行為に深く感佩し、
 因って一碑を建て永く之を顕彰せんとす。
 希くは五君、吾等誓って郷等の遺志を継承せん。
 以って冥せられよ。

昭和二十一年五月二十五日
 一週年に當り 草薙忠 識之

新井宿観音堂



基本情報

所 在： 観音通り商店街
 住 所： 東京都大田区中央3-16-9
 (京急電鉄 大森町駅 徒歩17分)
 連 絡 先： 観音通り共栄会 03-3771-7744
 建 立 者： 観音通り共栄会
 建 立 年： 昭和23年

碑 文

縁 起

昭和二十年大東亜戦争終ヲ告ケ破却悲運ニ陥ル国民齊シク茫然タリ
 此間遠征ノ軍ニ伍シテ身ヲ犠牲ニスルモノ幾莫カ国内モ亦戦災ヲ被
 ルコト有史以來其類ヲ見サルノ厄ニ遇ヒ無辜ノ命ヲ黄泉に走ラス者
 数知レス痛恨限りナシ此戦死戦歿者ヲ追善供養セントテ本町内ニ観
 音会ヲ組式シ修善ノ人々相計リ昭和二十三年此地ニ仏堂ヲ建テ観音
 大士ノ尊像ヲ奉安シ其冥福ヲ祈ル

昭和三十三年福山義三郎ノ寄付ニヨリ仏堂再建シ尚宝塔ヲモ献納ス
 隅元居士ハ信仰厚ク浄土三部聖法花聖八巻ヲ浄寫シテ宝前ニ献セリ
 観音大士ハ自性清浄法性如來ト号シ奉ル然ニ大慈ヲ以ライ故ニ猶ホ
 菩薩ノ相ヲ現シ苦惱ノ衆生ヲ度シ樂邦ニ導キ玉フ

有縁無縁ノ人々心ヲ大士ノ慈顔ニ托シテ成仏ヲ願フヘキナリ

会長東秀二副会長宇田川庫吉其他多数委員芳名省畧

光教寺住取 藤沢捷徳謹書

大田区戦没者慰霊塔



基本情報

所 在：池上本門寺
 住 所：東京都大田区池上1-1-1
 (東急電鉄 池上駅 徒歩15分)
 連 絡 先：池上本門寺 03-3752-2331
 建 立 者：大田区戦没者慰霊塔建設奉安会
 建 立 年：昭和37年4月8日

碑 文

慰 霊

説 明 文

慰霊塔建設誌

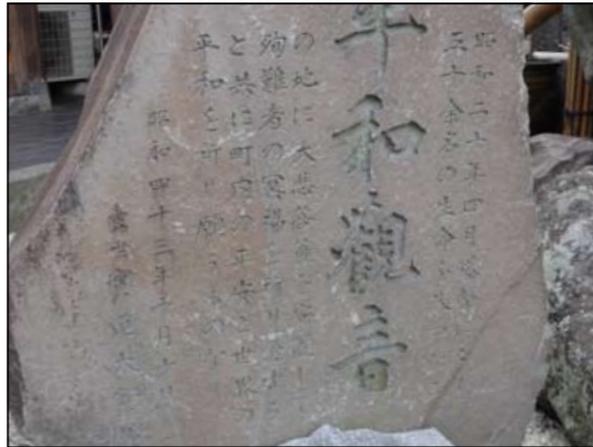
日華事変太平洋戦争における戦没軍人軍属の英霊と戦災で犠牲になられた人々の幽魂を弔慰し恒久の平和を祈念するため慰霊塔を建設すべく大田区自治会連合会大田区郷友会大田区遺族会及有志は昭和三十五年七月大田区戦没者慰霊塔建設奉賛会を結成した

区民の絶大なる協力と本門寺の好意を得て翌年九月二十三日この地に工を起し本日除幕の式を挙げるにいたった 塔内には日清日露の両役をもふくめた区内五千有余に及ぶ犠牲者名を十八地区別の芳名録に謹記して奉安した

われわれはこの慰霊塔を仰いで今後益々複雑となる国際関係の動きに処する決意を固め 祖国の発展と世界の平和に寄与することを英霊に誓いあわせてその加護を願うものである

昭和三十七年四月八日
 大田区戦没者慰霊塔建設奉賛会

池上平和観音



基本情報

所 在：曹禅寺
 住 所：東京都大田区池上7-22-10
 (東急電鉄 池上駅 徒歩7分)
 連 絡 先：曹禅寺 03-5700-5111
 建 立 者：曹禅寺
 建 立 年：昭和43年10月10日

碑 文

池上平和観音

昭和二十年四月爆撃により五十余名の生命を失つたこの地に大悲菩薩を安置して殉難者の冥福を祈り念すると共に町内の平安と世界の平和を祈り願うものなり

昭和四十三年十月十日

壹世實道大憲

五十間鼻無縁仏堂



基本情報

所 在：多摩川河口
 住 所：東京都大田区羽田6丁目
 （京急電鉄・東京モノレール 天空橋駅 徒歩7分）
 連 絡 先：不明
 建 立 者：不明
 建 立 年：不明

説明文

五十間鼻無縁仏堂の由来

創建年代は、不明であります。多摩川、又、関東大震災、先の第二次世界大戦の、昭和二十年三月十日の東京大空襲の折には、かなりの数の水難者が漂着致しました。

その方々を、お祀りしていると言われております。

元は、多摩川河口寄りの川の中に、角塔婆が一本立っているだけで有りましたが 初代 漁業組合長 故 伊東久義氏が管理し毎年お盆には、盆棚を作り、有縁無縁の御霊供養をしていました。昭和五十三年護岸工事に伴い、現在地に移転しました。その後荒廃著しく、仲七町会 小峰守之氏 故 伊東米次郎氏 大東町会 故 伊東秀雄氏 が、私財を持ち寄り復興致しました。

又、平成十六年に、村石工業、北浦工業、羽田葬祭スミヤ、中山美装、中山機設、の協力により新たに、ブロック塀、角塔婆、棧橋、などを修理、増設、現在に至ります。

又、新年の水難祈願として、初日の出と共に、羽田本町、日蓮宗 長照寺 住職 並びに信者の方々が、水難者への供養を、毎年行っています。

合掌
堂守護書

豊島区空襲犠牲者哀悼の碑



基本情報

所 在：南池袋公園（現在閉鎖中）
 住 所：東京都豊島区南池袋2-21-1
 （JR池袋駅 徒歩3分）
 連絡先：豊島区 土木部 公園緑地課 03-3981-1111（代表）
 建立者：豊島区
 建立年：平成7年8月

碑 文

恒久の平和を願って
 —豊島区空襲犠牲者哀悼の碑—

昭和20年4月13日深夜から翌14日未明にかけて東京西部北部を襲った空襲は、豊島区の大半を焦土と化し、甚大な被害と深い悲しみをもたらしました。

死者778人、負傷者2,523人、焼失家屋34,000戸にのぼる被害により罹災者の数は161,661人と、実に当時の人口の約7割に及びました。

この空襲によって無念のうちに尊い命を失った数多くの犠牲者が、当時、「根津山」と呼ばれた、ここ南池袋公園の一角において埋葬されました。

先の戦争を通じて空襲の犠牲者となった豊島区民の冥福を祈るとともに、この悲惨な事実を永く後世に伝え、二度と再び戦争による悲劇を繰り返さぬように、この碑を建立します。

平成7年8月 豊島区

4・13根津山小さな追悼会



※写真提供 4・13根津山小さな追悼会 事務局

開催概要（平成22年度）

歳 時 名：4・13根津山小さな追悼会
 会 場：豊島区南池袋公園北側「空襲犠牲者哀悼の碑」前にて
 （JR池袋駅 徒歩3分）
 日 時：平成22年4月13日（火） ※例年4月13日開催
 参列者数：120人
 連絡先：4・13根津山小さな追悼会 03-3971-4771

式次第（平成22年度）

1. 開会のことば… 実行委員長
1. ごあいさつ… 代表 小田光野
1. 黙 禱… 全員
1. 鎮魂のことば… 有志
1. 朗 読… 豊島朗読の会「ききみみずく」
「焼け出された始末記」 岡田和道
1. 献 花… 全員
1. 斉 唱… 全員
1. 閉会のことば… 名誉顧問 前島郁子

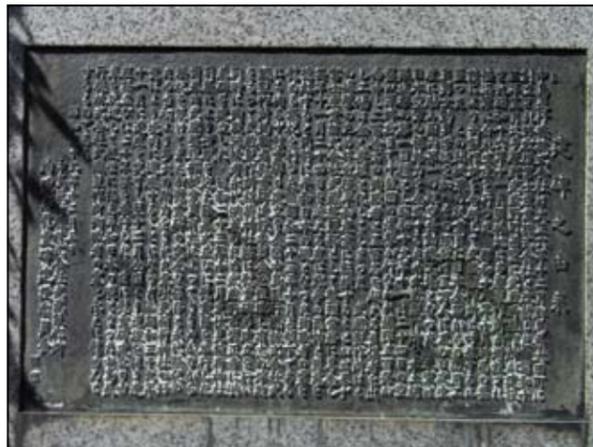
経 緯

「4・13根津山小さな追悼会」は、昭和20年4月13日城北大空襲被災50周年を期して、平成8年に発足いたしました。当時、区の人口の70%約16万人が被災し778名の尊い人命が失われ、この被災当時根津山と呼ばれた今の南池袋公園にも沢山のご遺体がトラックで運ばれ埋葬されました。

名も知れず葬られた人々の惨憺たる心情を思い、二度と戦禍に町を晒したくないという鎮魂と平和への願いをこめて、毎年4月13日午後2時からの一時間、南池袋公園「豊島区空襲犠牲者哀悼の碑」前で、心ある人々が寄り合い、ささやかに小さな追悼会を続けてきました。

会場の設営・資材の提供などは、地元町会の方々にお世話になっており、この縁の下の力持ち的地元の協力、豊島区と豊島区町会連合会の後援をいただいでこの会は続けてこられました。

中島飛行機株式会社武蔵製作所 殉職者慰霊碑



基本情報

所 在：東伏見稲荷神社
 住 所：東京都西東京市東伏見1-5-38
 （西武鉄道 西武柳沢駅 徒歩7分）
 連 絡 先：東伏見稲荷神社 042-461-1125
 建 立 者：中島飛行機株式会社武蔵製作所、殉職者慰霊碑建設委員会
 建 立 年：昭和39年12月5日

碑 文

慰霊碑

説 明 文

建碑之由来

中島飛行機株式会社は大正六年十二月群馬県太田町に創立され終戦後富士産業株式会社と改称した。昭和十三年五月北多摩郡武蔵野町西窪に武蔵野製作所が建設され昭和十六年十一月隣接地に多摩製作所が増設され陸海軍に分かれ生産を行った。昭和十八年十月時局の要請により両製作所を合併して武蔵製作所と呼称するに至った。この間従来の従業員に日本全国からの徴用工員男女動員学徒を加へその総数は五万人に及び日夜生産に励み国内第一の航空発動機工場となった。米軍は日本空軍の補給力を全滅するため武蔵製作所を本土編隊爆撃の第一目標とし昭和十九年十一月二十四日の空襲以来終戦まで十数回の爆撃が行われ、爆弾五百発が命中し二百余名の殉職者と五百名を超える負傷者を出し工場は全く廃墟と化してしまった。武蔵製作所はこの爆撃のため終戦後平和産業に転換することができず富士産業株式会社武蔵整理部として整理業務に専念し毎年十一月二十四日を迎える度に戦争の恐怖と罪悪を想起すると同時に平和日本の礎となった殉職者の霊を慰める祭祀を行った。昭和二十三年十月占領下であるにも拘わらず慰霊碑の建立を企図中島飛行機株式会社武蔵製作所殉職者慰霊碑建設委員会を組織し有志の浄財をもって武蔵製作所稲荷神社跡に慰霊碑の建立を行い同時に殉職無縁者永代供養のため武蔵野市源正寺に供養碑を建立した。昭和二十三年十二月東伏見稲荷神社司祭により遺族を迎え除幕式並びに慰霊祭を挙行了した。爾来日武蔵整理部従業員有志によってささやかながら祭祀を続けて来たが慰霊碑の完全な保存と永代祭祀のため当初より多大の助力をされた東伏見稲荷神社の好意により境内に遷座することになった。昭和三十九年十一月に遷座を完了し翌十二月全国より遺族を招き遷座祭並びに二十年祭を挙行了した。茲に慰霊碑建立の由来を記述して後世に伝え平和日本の礎となった中島飛行機株式会社武蔵製作所殉職者の霊を永えに慰めんとするものである。

昭和三十九年十二月五日
 中島飛行機株式会社武蔵製作所
 殉職者慰霊碑建設委員会

中島飛行機株式会社武蔵製作所 殉職無縁者永代供養碑



基本情報

所 在：源正寺
 住 所：東京都武蔵野市緑町1-6-7
 (JR三鷹駅より関東バス「武蔵野営業所」下車 徒歩3分)
 連 絡 先：源正寺 0422-51-2405
 建 立 者：中島飛行機株式会社武蔵製作所、殉職者慰霊碑建設委員会
 建 立 年：昭和23年12月4日

碑 文

【表】

俱會一處

【裏】

昭和二十三年十二月四日建之
 中島飛行機株式会社武蔵製作所
 殉職者慰霊碑建設委員会

平和観音菩薩像



基本情報

所 在：延命寺
 住 所：東京都武蔵野市八幡町1-1-2
 （JR三鷹駅より関東バス「五小前」下車 徒歩1分）
 連絡先：延命寺 0422-51-8377
 建 立 者：檀家有志
 建 立 年：昭和52年10月23日

碑 文

平和観音菩薩

太平洋戦争が終って三十三年、今や我国は
 経済大国として平和な日々が続いているが、
 私達は陸海空に護国の華と散った英霊、戦火
 に命を失った戦災殉難者のいしづえを絶対に
 忘れることは出来ません。そして痛ましい戦
 争の悲惨と恐怖と罪悪を常に想起して、平和
 に対する努力を怠ってはなりません。

想えば武蔵野市は(株)中島飛行機武蔵製作所
 及びその下請工場が数多く在ったため、昭和
 十九年十一月廿四日、B29による最初の大空
 襲を受け、尔来翌年八月十五日の終戦まで十
 数回の爆撃により工場と付近の民家は廃墟と
 化し、防空壕もろとも一家全滅が続出、その
 死傷者千数百を数えた。当山も至近弾による
 甚大な被害を蒙った。今やその工場跡も平和
 な緑の公園に生れ変わり戦争の足跡は消えた。

茲に終戦三十三年忌を迎え、平和を愛する
 人々の誠願により観音菩薩像を建立して平和
 観音と名付け、二度とこの悲劇を繰り返さな
 いために、その由来を記述して後世に伝え、
 有縁の戦歿者英霊と戦災殉難者の名を刻んで
 冥福を祈り奉る。

本日を卜して終戦三十三年戦歿英霊、戦災
 殉難者の慰霊と平和観音開眼大法要を厳修し
 併せて世界平和を祈念するものである。

昭和五十二年十月二十三日
 延命寺中興第五世住職少僧正中里崇亮

旧日立航空機株式会社 立川発動機製作所 変電施設、慰霊碑



基本情報

所 在：都立東大和南公園 平和広場
住 所：東京都東大和市桜が丘2・3丁目
(西武鉄道・多摩都市モノレール 玉川上水駅 徒歩7分)
連 絡 先：都立東大和南公園 042-563-2111
建 立 者：戦災犠牲者慰霊碑建立委員会
建 立 年：平成7年4月23日

碑 文

旧日立航空機株式会社 立川発動機製作所

太平洋戦争 戦災犠牲者
慰霊碑

戦災犠牲者慰霊碑建立委員会
平成七年四月吉日建之

説 明 文

慰霊碑建立の由来

旧日立航空機立川製作所戦災犠牲者の慰霊碑は、一九九四年（平成六年）夏、元同社々員小川準一氏（九十四才）の提唱により、コマツゼノア立川OB会がその推進母体となり、戦後五十周年を期して建立する運動を開始し、五十年忌にあたる翌一九九五年（平成七年）四月二十三日に除幕式ならびに慰霊祭を執り行うにいたったものである。

戦災供養地蔵尊



基本情報

所 在：山中坂
 住 所：東京都立川市富士見町5
 （JR立川駅より西武バス バス停「富士見町五丁目」下車 徒歩7分）
 連 絡 先：個人であり記載せず
 建 立 者：遺族有志
 建 立 年：平成7年4月2日

碑 文

太平洋戦争の末期、立川は一九四五年（昭和二十年）二月十六日から八月二日までの間、少なくとも十三回の爆撃を受け、三百三十余名が犠牲となった。

ここ山中坂にあった横穴式防空壕は、四月四日未明、B29が投下した爆弾が直撃し、中に避難していた子どもたち三十二名をふくむ四十二名が死亡した。

平和をねがい、思いをおなじくする私たちの拳出金と、土地所有者の株式会社伊藤商店のご協力によってこの歌碑を建立し、戦争の悲劇を再び起こさないことを誓います

一九九五年四月二日

歌 碑

山中坂悲歌

作詞 小沢長治 作曲 新田光信

夜明けが遠い 闇の中 山中坂の防空壕に
 息つめよりそう四十一人 子ども年より女の人 爆弾積んだ飛行機がくる

闇をひきさき とどろく音 防空壕に爆弾が落ちた
 埋められた四十一人 子ども年より女の人 二度とかえらぬみんなの命

ああ 悲しみが坂を流れる 桜の花がなきがらに降った
 あの日のように花びらが舞う 山中坂よ 小さなほこら お地藏さまに祈る誓い

あの悲しみをくり返さない あの悲しみをくり返さない

八王子市戦没者慰霊塔



基本情報

所 在： 富士森公園
 住 所： 東京都八王子市台町2-2
 (JR・京王八王子駅より京王バス バス停「富士森公園」下車 徒歩5分)
 連絡先： 八王子市 健康福祉部 健康福祉総務課 042-626-3111 (代表)
 建立者： 八王子市
 建立年： 昭和40年10月

碑文

西南の役から大東亜戦争に至る殉国の英霊および
 戦災殉難の霊をここにまつる

昭和四十年十月
 八王子市長 植竹圓次

八王子市戦没者・戦災殉難者追悼式



(写真は平成21年度のもの)

開催概要 (平成22年度)

歳時名： 八王子市戦没者・戦災殉難者追悼式
 会場： 八王子市民会館 ※例年は富士森公園
 (JR八王子駅 徒歩15分)
 日時： 平成22年4月15日(木) ※例年4月15日開催
 参列者数： 約380名
 連絡先： 八王子市 健康福祉部 健康福祉総務課 042-626-3111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式・開会の辞
2. 国旗掲揚…国歌斉唱
3. 市歌
4. 主催者追悼のことば
5. 黙とう
6. 追悼のことば
7. 電報披露
8. 献花
9. 閉式

式辞 (平成22年度)

本日ここに、御遺族の方々をはじめ多数の関係者の御臨席のもと、平成二十二年度八王子市戦没者・戦災殉難者追悼式を執り行うに当たり、先の大戦で亡くなられたすべての方々に、謹んで哀悼の意を表します。

あの長く悲惨な戦争に終止符が打たれてから、六十五年の歳月が過ぎ去ろうとしています。今や市民の皆様が多くが戦争を知らない世代となっております。しかし、先の大戦では、多くの若者が遠く故郷を離れて、凍てつく寒さのなかで、あるいは灼熱の南方の戦地で、祖国を思い、愛する家族の幸せを祈りつつ、帰らぬ人となりました。また、内地においても、激しい空襲により、お年寄り、女性、子供の別なく、尊い命が無残に失われました。

御遺族の皆様には、最愛の肉親を奪われた深い悲しみを背負い、長い苦難の道を歩んでこられた御労苦と御努力に対し、改めて心から敬意を表します。

戦後、わが国は戦争によってもたらされた苦しみ悲しみへの深い反省から、平和の道を歩み、国家再建に邁進してきました。激しい空襲によって焦土と化した街も、国民の不屈の努力により経済復興を遂げ、平和で豊かな社会を築いてまいりました。

本市におきましても、多摩地域最大の都市として発展を続け、先端技術産業が集積する産業都市、二十一の大学を有する学園都市へと変貌をとげました。

現在、私たちがあたりまえのように享受している平和で豊かな社会は、戦没者の尊い犠牲のうえに築かれたものであるということを、決して忘れてはなりません。

平和は、人類共通の願いであります。しかし、世界に目を転じますと、未だ紛争やテロ行為は絶えず、今も女性や子どもを含む多くの人々が、戦火や謂われなき暴力にさらされ苦しんでいます。また、世界は核の脅威下にあり、いまだに核兵器は根絶されることはありません。

今、私たちに課せられた最大の使命は、唯一の被爆国として、全世界の手本となるよう、戦争の悲惨さを風化させることなく、しっかりと次代へ語り継ぎ、だれもが心豊かに暮らせる、よりよい社会の実現に向けて、全力を尽くすことでもあります。

終わりに、戦没者・戦災殉難者の安らかなる御冥福と、御遺族の皆様方の御健康と御多幸を心から祈念し、追悼のことばといたします。

平成二十二年 四月十五日 八王子市長 黒須 隆一

いのはな慰霊碑、戦災死者供養塔



いのはな慰霊碑



戦災死者供養塔

基本情報

所在地：湯の花トンネル付近
 住所：東京都八王子市裏高尾町 800 付近
 (JR高尾駅より京王バス バス停「蛇滝口」下車 徒歩2分)
 連絡先：いのはなの集い事務局 042-664-8615
 建立者：いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会
 建立年：昭和61年7月28日

碑文

【表】

慰霊の碑

終戦間近の昭和二十年(一九四五)八月五日 真夏の太陽が照りつける午後十二時二十分頃 満員の新宿発長野行き四一九列車が いのはなトンネル東側入口に差しかけたとき 米軍戦闘機P51二機または三機の銃撃を受け 五十二名以上の方々が大死、百三十三名の方々が大重軽傷を負いました この空襲は日本最大の列車銃撃といわれています

私どもは この戦争の惨禍を決して忘れることができません
 ここに 確認された犠牲者のお名前を書きとどめ ご遺族とともに心からご冥福をお祈り申し上げ 現在の平和の日々をかみしめ 戦争を知らない世代へこのことを語り伝えます

平成四年八月五日 いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会

【裏】

戦災死者供養塔は 昭和二十五年八月 当時の上長房(現：裏高尾町、西朝川町)青年団が 亡くなった方々を供養するため 団員協力のもとに建立したものです

供養塔には 亡くなった方々を茶毘に付した日影沢の石が用いられました
 地元に住む人々は 尊い犠牲者のお名前も人数も知ることなく 供養塔の前に手を合わせご冥福をお祈りしていました

昭和五十六年から八王子市教育委員会が八王子の空襲の調査を行い その後あらゆる手だてを尽くした結果 この事件の犠牲者は六十名以上と推定いたしました

そのうち 四十名のお名前と遺族が判った昭和五十九年 遺族関係者、地元の有志により七月二十一日に「いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会」が発足いたしました
 会では この年の八月五日を「供養の日」に定め 毎年供養の集いを行い現在に至っています

供養塔は はじめ唐沢踏切の北側にありましたが 地主のご好意で南側の土地を無償で提供していただき 昭和六十一年七月二十八日現在地に安置されました

かねてから 会では蓄積した浄財で亡くなった方々のお名前を刻んだ慰霊の碑の建立を計画していたところ 平成四年三月 東京八王子南ロータリークラブからも協力の申し出があり ここに念願でありました慰霊の碑が完成いたしました

平成四年六月十日 いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会

いのはなの集い



開催概要 (平成22年度)

歳時名：いのはなの集い
 会場：いのはな慰霊碑前
 (JR高尾駅より京王バス バス停「蛇滝口」下車 徒歩2分)
 日時：平成22年8月5日(木) ※例年8月5日開催
 参加者数：73人
 連絡先：いのはなの集い事務局 042-664-8615

式次第 (平成22年度)

1. 開会挨拶
2. 来賓紹介
3. 代表挨拶
4. 追悼のことば… 八王子市長
5. 献花
6. 朗読
7. 遺族会挨拶… 遺族会会長
8. 閉会

挨拶 (平成22年度)

遺族会挨拶

私はこちらで戦災死致しました黒柳良子の妹の黒柳美恵子です。奇しくも怪我一つなく助かりました。その八月五日当日も暑い日でした。六十五年の間暑い日、雷が鳴り大雨と色々ありました。そんな長い年月がたちましたが本日も又皆様のおかげを持ちまして慰霊の日に出席出来ます事遺族会といたしまして感謝申し上げます。

当時は空襲もひどくなり両親は母の実家のある長野に行かせる事にしました。戦争に振り廻され少しでも安心な所とえらんでくれたのだと思います。翌日八月六日の早朝父と二人で姉の確認に来ました。町の皆様のご好意で雨戸の上に安置され日差しをさけるため木の枝でおおいかぶされていました。たくさんの中から一人さがしました。ご家族の方かと思はれる方から脱脂綿を下さいまして顔をふいてあげなさいといはれました。姉は頭の後から撃たれていましたので顔はひどくなくてよかったですと父は話していました。

そんな父もなくなり母もかなし通した姉と同じ八月五日に亡くなりました。
 知らない人は殆んどないこの高尾山にこんなおぞましい事件があった事は知らない方が多いと思います。

六十五年の歳月は若い人には遠い時代の出来事思はれますがそれはやむをえません。でも命は大切にしてください。私達戦争体験者は平和の尊さを皆様に伝えて行きます。最後に皆様のご健勝をお祈り申し上げます。お礼方々ご挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございます。

遺族会会長 黒柳 美恵子

ランドセル地蔵



基本情報

所 在：相即寺
 住 所：東京都八王子市泉町1132
 (JR西八王子より西東京バス バス停「花川」下車 徒歩1分)
 連 絡 先：相即寺 042-622-7589
 建 立 者：相即寺
 建 立 年：昭和60年(新しく建立された地藏尊)

説明文

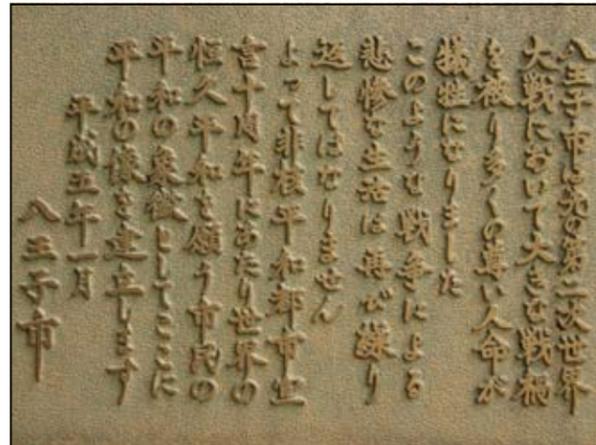
ランドセル地藏尊

昭和二十年七月八日、東京品川の原国民学校四年生神尾明治君が、疎開先の元八王子隣保館保育園で米軍飛行機P51の銃弾を受けて死亡し明治君のお母様が、明治君が使用していたランドセルを、明治君が一番似ている堂内一地藏にかけて東京に帰り、お母様も昭和二十一年二月二十八日死亡した。児童文学作家古世古先生が「家出ねこのナゾ」を書かれて後、初めて真相が判明した。

ご開帳の月日

毎年六月二十三日。七月八日。八月八日。
 午前八時より午後六時まで。

平和の像



基本情報

所 在：富士森公園
 住 所：東京都八王子市台町2-2
 (JR・京王八王子駅より京王バス バス停「富士森公園」下車 徒歩5分)
 連 絡 先：八王子市 健康福祉部 健康福祉総務課 042-626-3111 (代表)
 建 立 者：八王子市
 建 立 年：平成5年1月

碑 文

【表】

平和

【側面】

八王子市は先の第二次世界大戦において大きな戦禍を被り多くの尊い人命が犠牲になりました
 このような戦争による悲惨な生活は再び繰り返してはなりません
 よって非核平和都市宣言十周年にあたり世界の恒久平和を願う市民の平和の象徴としてここに平和の像を建立します

平成五年一月
 八王子市

